

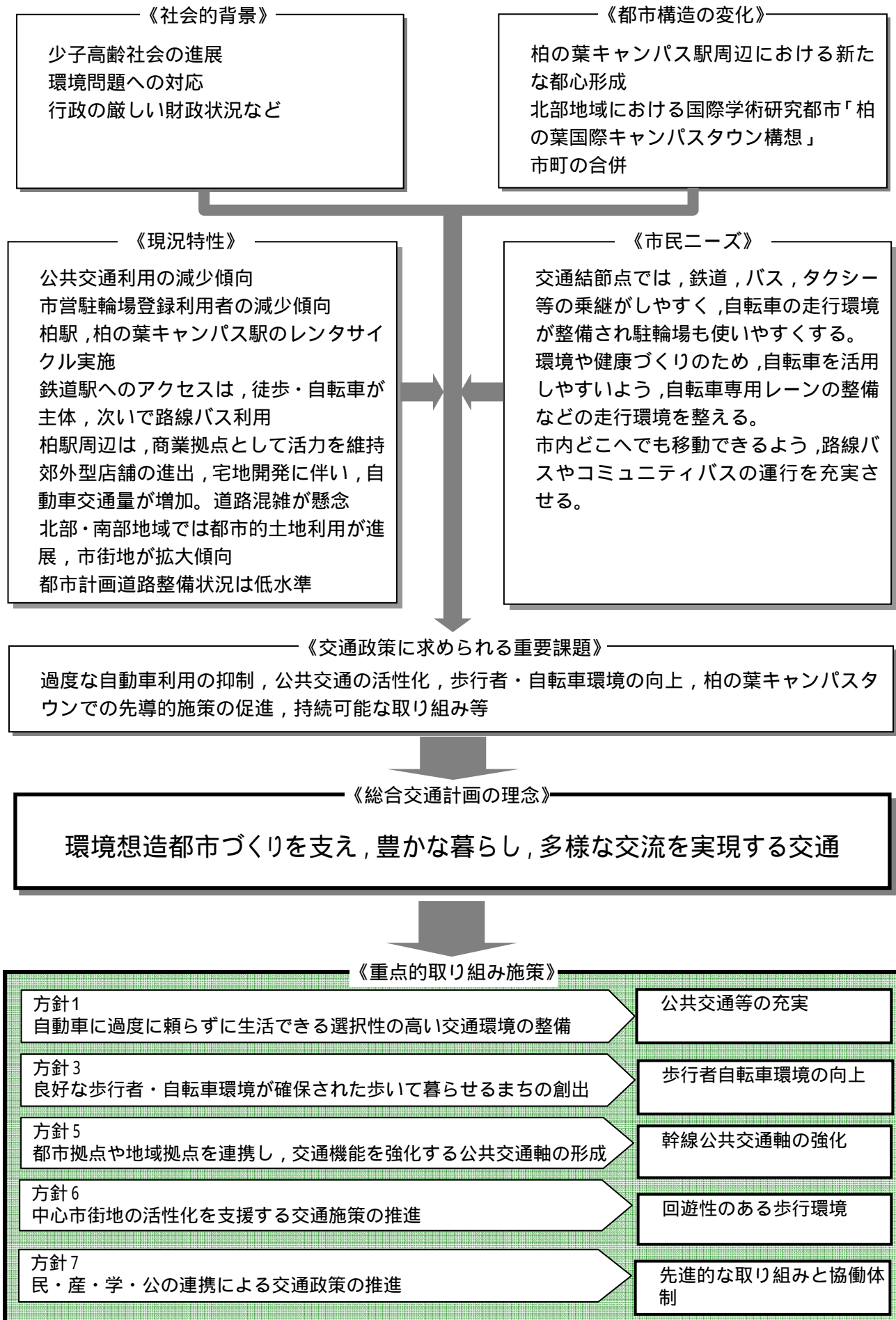
# 7. 具体的取り組み施策

## 7 - 1 交通ネットワーク形成の考え方

- ・ 道路は機能に応じて役割があり，相互にネットワークすることにより機能を十分に果たし，円滑な都市活動を支える。
- ・ 広域幹線道路は，首都圏の骨格を成す道路であり，柏市の広域連携拠点としての発展を支える交通ネットワークの形成を目指す。
- ・ 柏環状道路は，市内の各地域を連絡し，新たな拠点づくりと一体的市街地形成を支える。
- ・ 市中心部と北部都市拠点・南部地域拠点を結ぶ都市軸においては，バス路線の機能強化により公共交通軸の形成を図る。



## 7 - 2 重点的取り組み施策



### 7 - 3 スケジュールの考え方

目標年次を 10 年後の平成 31 年度としているため、各施策の実施については次のような段階的に取り組むとともに、さらに「市民」「事業者」「行政」各々の役割を明確にし、各主体が相互に協働しあいながら、実践することができる内容とする。

短期：(平成 22 年度～平成 25 年度)

- ・現時点で早急に取り組むべき課題について、4 年間で取り組む施策
- ・中心市街地活性化事業等、既に検討が行われ、施策の実現が見込まれる施策
- ・既存施設や仕組みの有効活用によって効率的に実現が可能で、費用対効果を見込みやすい施策

中期：(平成 26 年度～平成 28 年度)

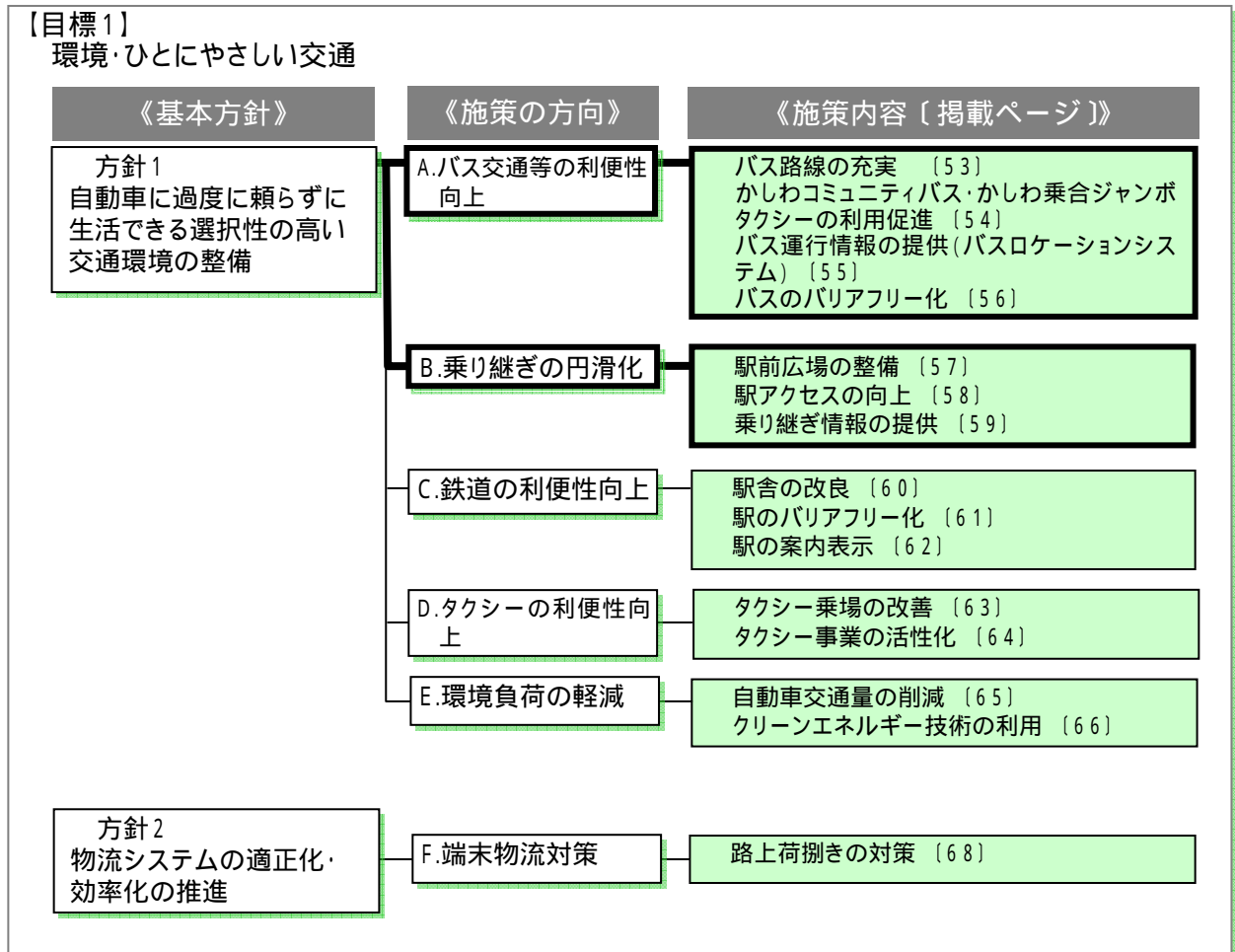
- ・直ぐに解決が困難であっても、将来像を目指すために中期的に取り組むべき施策
- ・個別の具体的な整備計画等の検討が必要で、十分な検討が必要な施策

長期：(平成 29 年度～平成 31 年度)

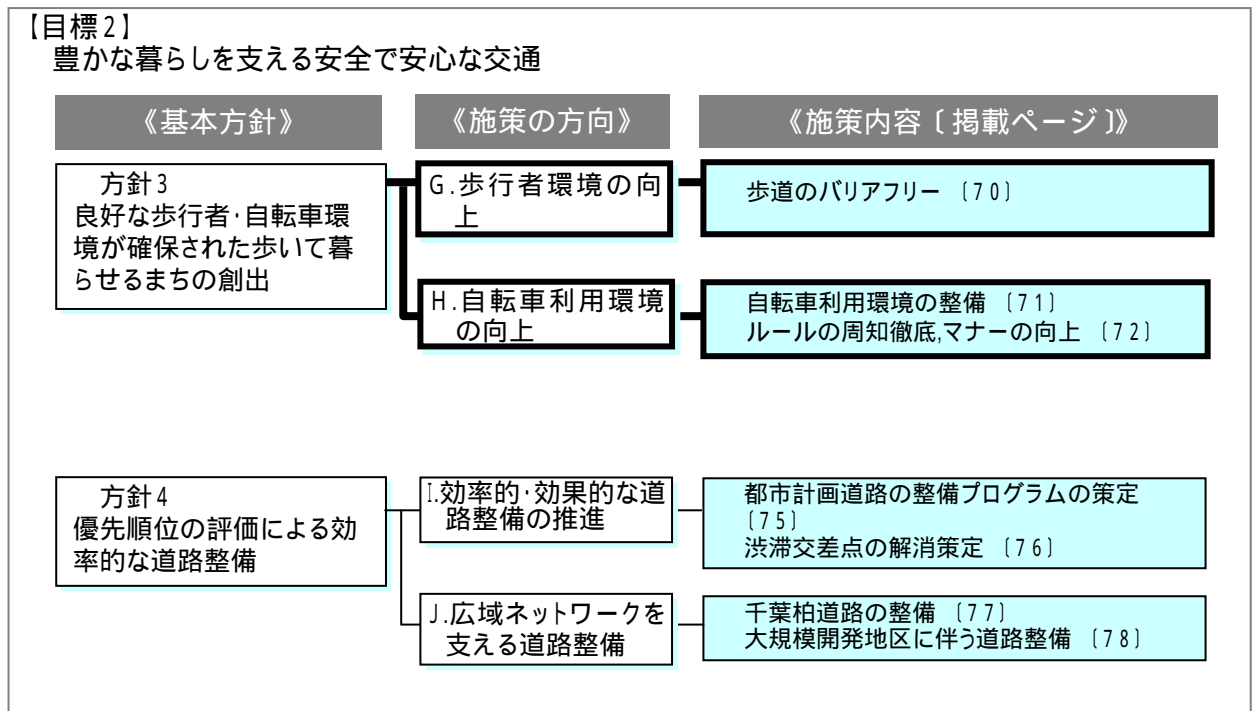
- ・本計画の目指す将来像を実現するために長期的に継続して取り組むとともに、実現に向けて常時議論を重ねていく施策
- ・財政的に規模が大きく、また関係する主体も多く、調整・実現に長期間を要する施策

## 7 - 4 主な取組み施策

### (1) 主な施策の体系一覧



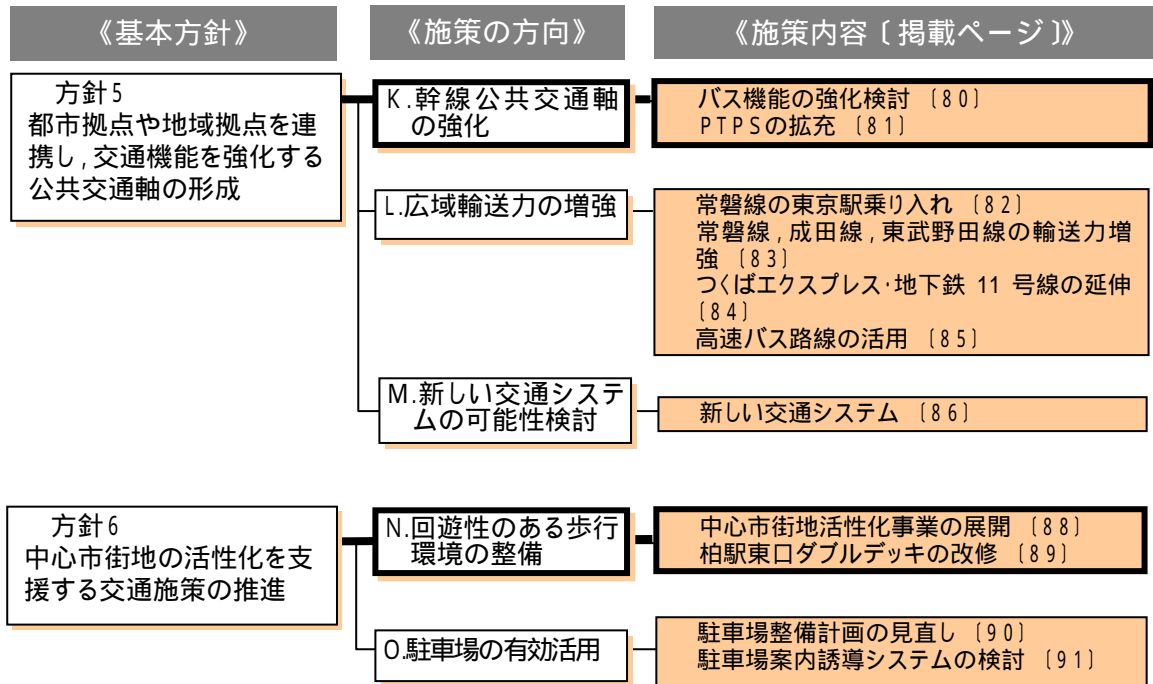
**重点的取組み施策**



**重点的取組み施策**

【目標3】

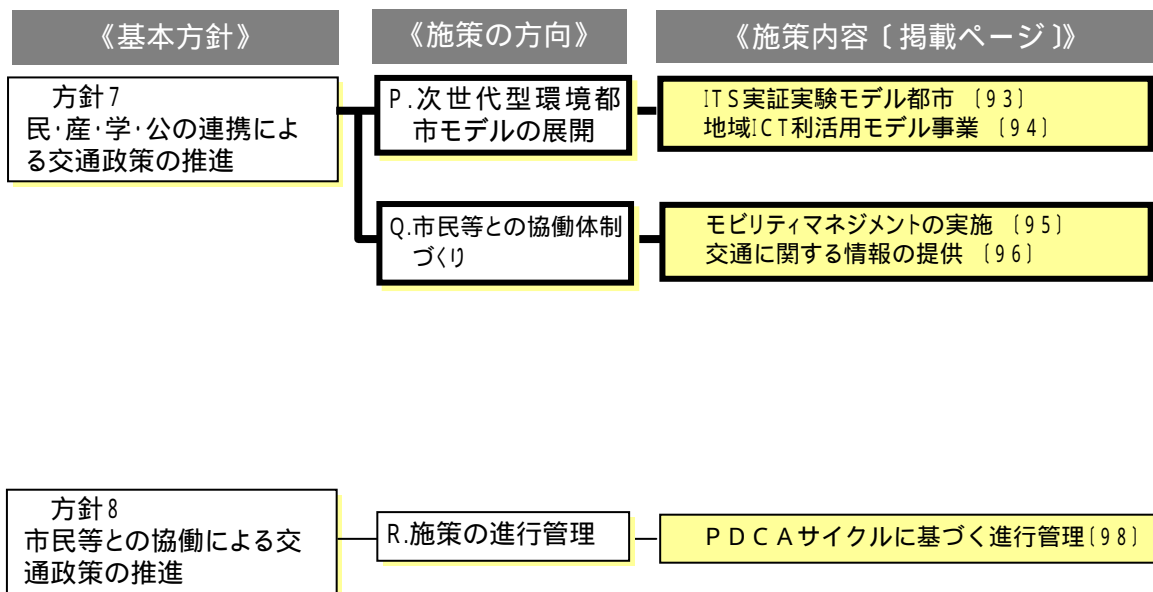
まちの魅力を高め交流を促進する交通



重点的取り組み施策

【目標4】

市民等との協働により支え合う交通



重点的取り組み施策

## (2) 主な取り組み施策

### 方針1：自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備 現状と展望

- ・ 柏市内には3路線で10の鉄道駅があり、また、主要な駅にはバス路線がアクセスしており、市民の約24%が代表交通手段として公共交通機関を利用している。
- ・ 鉄道駅へのアクセスが比較的容易な柏市においては、利便性の高い公共交通機関のひとつとなっている。
- ・ 一方、高齢化社会が進み、鉄道やバスなど、公共交通の持つ社会的な役割はさらに高まってきている。
- ・ 鉄道やバスなどの公共交通機関は、1人を1km運ぶ際のCO<sub>2</sub>排出量が自家用自動車に比べて少なく、将来、自動車に過度に頼らずに持続可能なまちづくりを進めていくためには、まちづくりの基幹となる交通体系の一つとして、さらなる利便性の向上を図る必要がある。

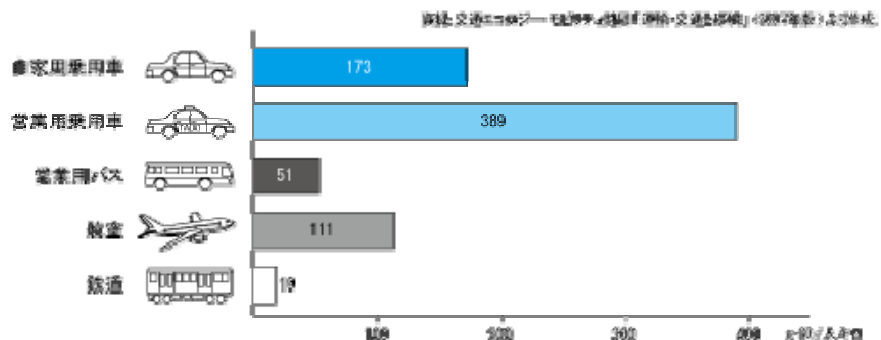
#### 基本的な施策の方向性

- A** バス交通等の利便性向上（重点的取り組み施策）
- B** 乗り継ぎの円滑化（重点的取り組み施策）
- C** 鉄道の利便性向上
- D** タクシーの利便性向上
- E** 環境負荷の軽減



#### 環境にやさしい公共交通を利用しましょう

わが国の二酸化炭素排出量のうち、運輸部門は19.9%を占めていますが、そのほとんどが自動車から排出されています。一方、公共交通は運輸部門の中でもわずかであり、その環境への優位性は「1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素の量」を比較すれば一目瞭然です。また、エネルギー効率からみても、公共交通は環境に対する優位性が明らかとなっています。



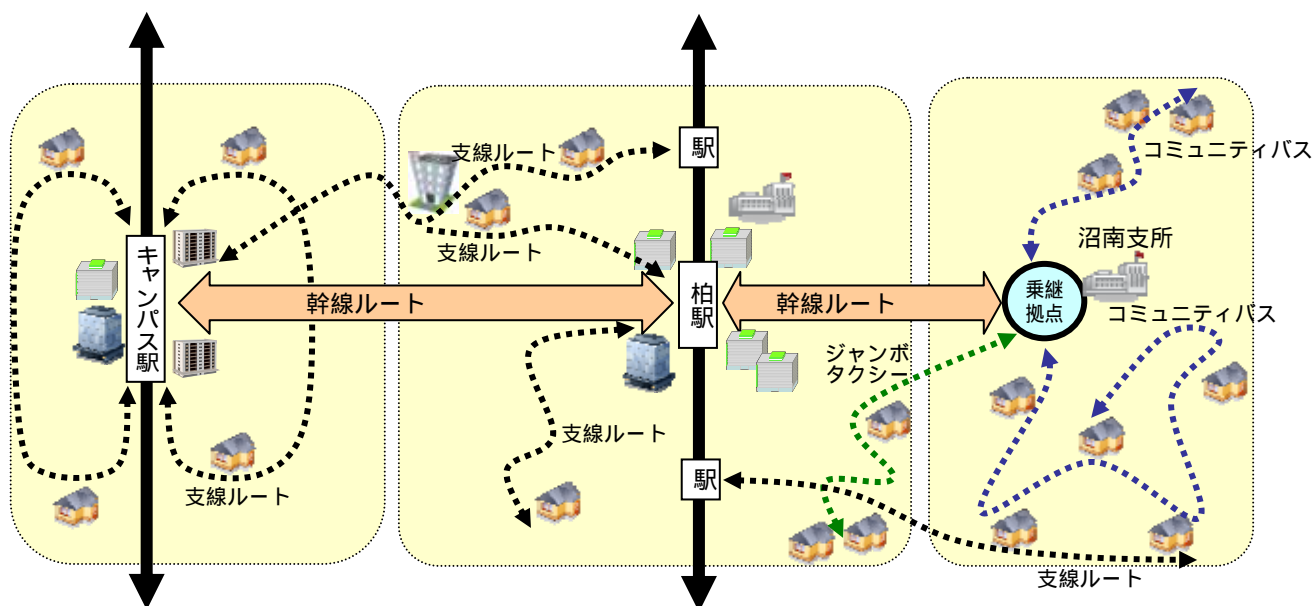
## A バス交通等の利便性向上（重点的取り組み施策）

身近な公共交通機関として、バス交通等の利便性を向上することによって、自動車等からの転換を促進し、過度に自動車に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境を整備する。

### A - バス路線の充実

道路や駅前広場の整備に合わせて、幹線的な路線バスルートを見直すとともに、市民ニーズに対応した利便性の高いバスサービスであるか評価し、路線再編成を検討していく。

バスネットワークの概念図



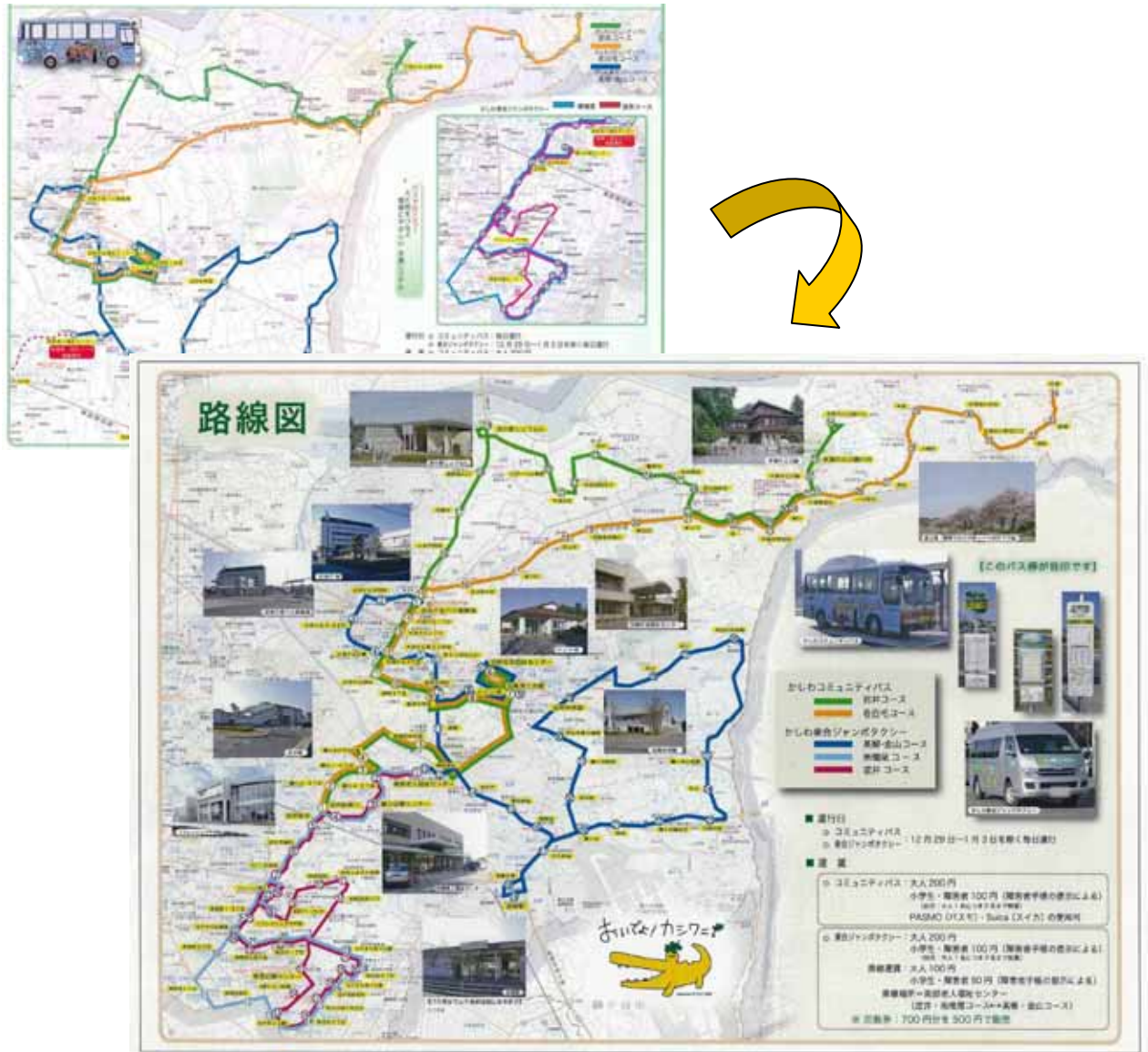
実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	ニーズに対応した路線の再編成		
	道路や駅前広場整備にあわせた路線の再編成		



**A** - かしわコミュニティバス・かしわ乗合ジャンボタクシーの利用促進

既存システムについては，運行経路の見直し，乗り継ぎ運賃制度の拡充，利用促進のPR活動などにより，費用対効果の改善および移動の確保を図っていく。

かしわコミュニティバス・かしわ乗合ジャンボタクシーの路線図（H22年1月運行経路見直し）



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	利用促進		
	代替方式の研究（利用促進しない場合）		



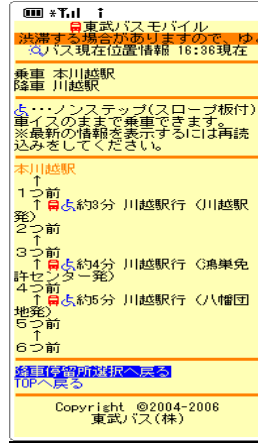
**A** - バス運行情報の提供（バスロケーションシステム）

定時性の確保を補い、バス待ちのいらいら等の解消のため、IT技術を活用しインターネット・主要バス停・ターミナル駅において、バスの到着時刻や混雑の状況を提示するなど、バス運行情報の提供による利便性の向上を図る。

バス運行案内



バス運行情報の提供



出典：東武バスHP

駅前広場の路線バス案内状況（平成 21 年 6 月現在）

駅名	駅前広場名	バス乗入れ(駅付近も含む)	乗り場の方向表示	路線系統図	乗り場案内	時刻表	運行情報	全て実施している駅前
柏駅 (JR, 東武)	柏駅東口駅前広場			×		×	×	×
	柏駅西口駅前広場						×	×
南柏	南柏駅東口駅前広場							
	南柏駅西口駅前広場			×	×	×	×	×
北柏	北柏駅南口駅前広場		×		×	×	×	×
増尾駅	増尾駅西口駅前広場		×	×	×	×	×	×
豊四季	豊四季駅南口駅前広場	×						
新柏	新柏駅東口駅前広場	×						
逆井	逆井駅東口駅前広場		×		×	×	×	×
高柳駅	なし		×	×	×	×	×	×
柏の葉キャンパス駅	柏の葉キャンパス駅東口駅前広場		×					×
	柏の葉キャンパス駅西口駅前広場		×				×	×
柏たなか駅	柏たなか駅西口駅前広場						×	×

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	運行情報掲示の整備		

**A** - バスのバリアフリー化

高齢者や障害者などが利用しやすい、人にもやさしいノンステップバスやリフト付きバスの導入を順次促進する。

ノンステップ付きバス車両



リフト付きバス車両



バス事業者のノンステップバス車両導入状況（市内の主なバス事業者2社）

車 種	合 計
ノンステップバス（大型，中型，小型計）	142台
ワンステップバス（大型，中型計）	42台
一般車両（大型，中型計）	8台
ステップリフトバス（小型）	6台
合 計	198台

平成20年9月末現在（乗合車における導入率）  
 ノンステップバス導入率 71.8%  
 （総車両数198台，内ノンステップバス車両数142台）

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	ノンステップ車両の導入推進		
	待合環境の改善検討		

## B 乗り継ぎの円滑化（重点的取り組み施策）

### B - 駅前広場の整備

異なる交通機関の乗り換え利便性の向上を図るため、北柏駅北口及び高柳駅西側土地区画整理事業による未整備駅前広場の早期整備を図るとともに、柏駅西口の再開発事業や未広あけぼの線の整備と併せて、柏駅西口駅前広場の交通機能の改善を検討する。

完成した南柏駅東口駅前広場



暫定整備された北柏駅北口駅前広場



都市計画道路・未広あけぼの線（計画幅員 25m）

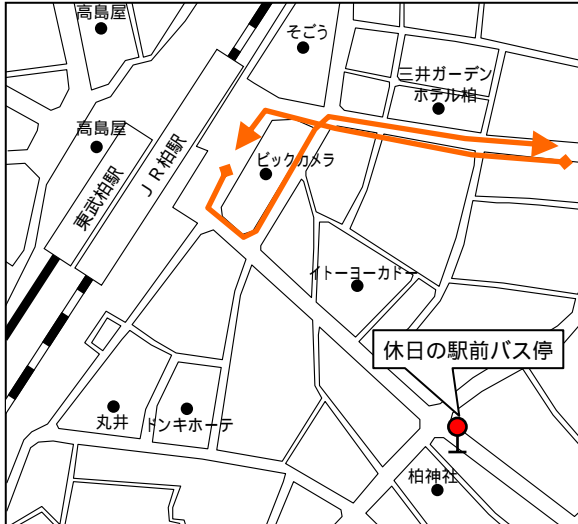


実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 企業（組合）	北柏駅・高柳駅 駅前広場の整備		
	柏駅西口駅前広場の改善検討		

**B** - 駅アクセスの向上

柏駅東口駅前広場への休日バス乗り入れの実現を図っていく。  
高柳駅西側の駅前広場整備に併せて、東口改札へのアクセスを向上させる自由通路の整備を検討する。

柏駅東口への休日バス乗り入れ実証実験（平成21年3月）



休日には駅前通りにて歩行者天国が行われるため、バスの乗降場所が駅から離れており、高齢者・障害者には不便をきたしている。また、バス乗降場所付近の路線にバスが集中し、円滑な道路交通確保に支障をきたす場面もある。このような状況を解消するため、休日に柏駅東口駅前広場へバスを乗入れる実証実験を行った。

豊四季駅に設置した南北自由通路（平成15年完成）



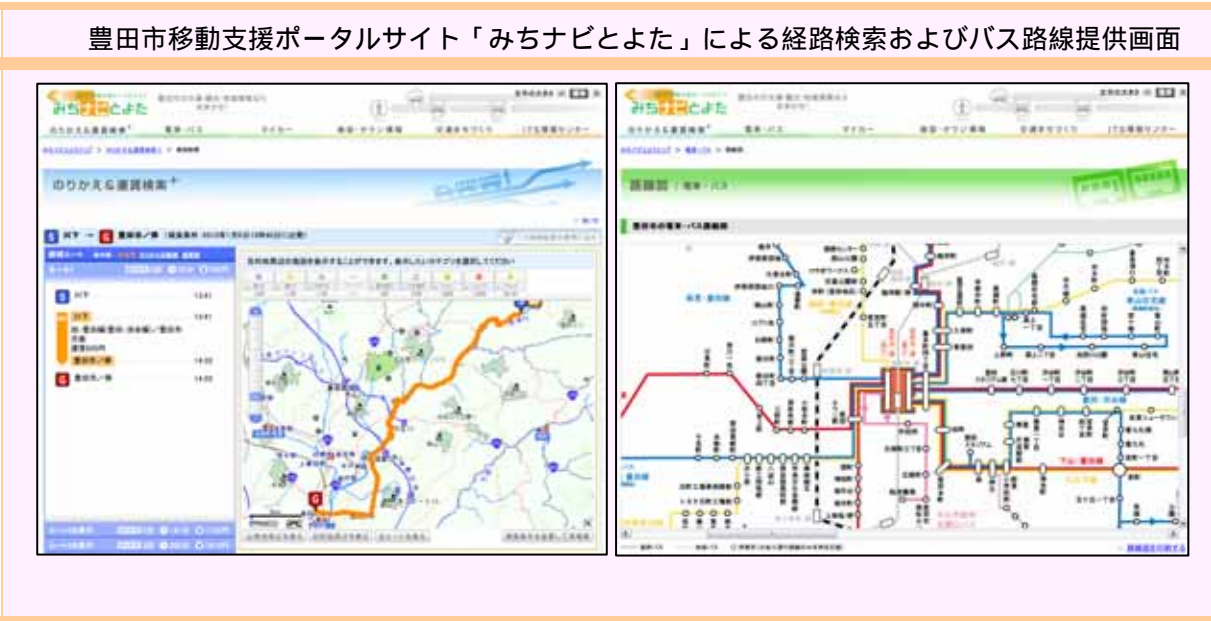
実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通管理者 交通事業者	柏駅東口への 休日バス乗り 入れ		
柏市	高柳駅の自由通路の 整備の検討		



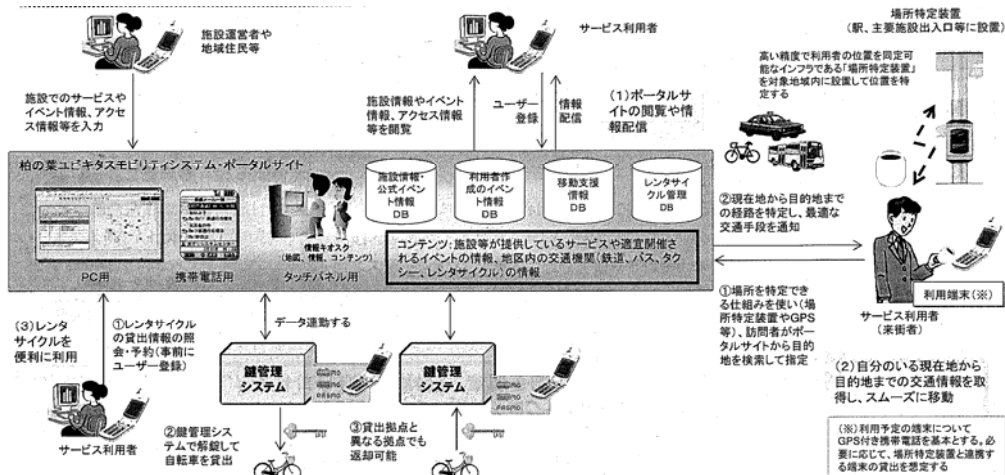
**B** - 乗り継ぎ情報の提供

柏駅をはじめとする鉄道駅では、様々な交通機関を多様な目的の人々が利用するため、わかりやすく利用しやすい、さらには柏らしい統一感にも配慮した案内・誘導サインの充実を図る。

IT技術を活用し、目的のバス停の行き方、乗換えバス停、乗継時間等の情報について、事前に経路情報を検索できる移動支援情報提供システムの構築など、交通事業者間の連携を図りながら推進する。



移動支援情報提供システム



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者 大学 企業	乗り継ぎ検索システムの構築		

## C 鉄道の利便性向上

- ・市内に10箇所の交通結節点となる鉄道駅の利便性を向上することによって、自動車等からの転換により公共交通利用者の増加を促進する。

### C - 駅舎の改良

柏駅改良により、魅力ある「柏の玄関口」を創造していく。  
高柳駅西側特定土地区画整理事業の進捗に併せた駅改良計画について検討していく。

現在の柏駅



開放感のある駅コンコース（立川駅の例）



現在の高柳駅



駅改良が済んだ逆井駅



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	柏の玄関口の創造		
	高柳駅改良計画の検討		



C - 駅のバリアフリー化

バリアフリー基本構想(21年度末見直し)に基づき、各駅にエレベーター等を設置していく。  
踏切道の拡幅,エレベーター付き自由通路の整備などにより、駅周辺バリアフリー化を進める。

市内各駅のバリアフリー状況

駅名		エレベーター設置の状況	
		駅の中	駅の外
JR	柏		
	南柏		
	北柏	(H22年度予定)	×
東武	柏		
	高柳	×	×
	逆井		
	増尾	(H22年度予定)	
	新柏	(H22年度予定)	改札が地上部にあるので設置不要
	豊四季		南北自由通路に設置
TX	柏の葉キャンパス		改札が地上部にあるので設置不要
	柏たなか		東口は駅前広場整備と併せて

豊四季駅のエレベーター



踏切道の拡幅



逆井駅踏切道の状況



整備後のイメージ

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	各駅へのエレベーター等の整備		
	踏切道の拡幅,自由通路の整備		

C - 駅の案内表示

乗り換え経路，駅周辺の公共公益施設等への経路案内を整備する。

駅周辺の案内表示（現況）



駅でのバス連絡の案内

駅名	駅前広場名	路線バスが乗り入れている駅（駅付近も含む）	バス乗り場の案内	バスの行き先案内	バスの発車時刻案内
柏駅（JR，東武）	柏駅東口駅前広場				
	柏駅西口駅前広場				
南柏	南柏駅東口駅前広場				
	南柏駅西口駅前広場				
北柏	北柏駅南口駅前広場			×	
増尾駅	増尾駅前広場		×	×	×
豊四季	豊四季駅前南口駅前広場	×			
新柏	新柏駅東口駅前広場	×			
逆井	逆井駅東口駅前広場		×	×	×
高柳駅	なし		×	×	×
柏の葉キャンパス駅	柏の葉キャンパス駅東口駅前広場		×	×	×
	柏の葉キャンパス駅西口駅前広場				
柏たなか駅	柏たなか駅西口駅前広場				×

電子案内表示板（タッチ式の表示端末）



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     経路案内の整備                 </div>		

## D タクシーの利便性向上

タクシーを公共交通の一つとして位置づけ、バス交通とともに利便性を高め選択性の高い交通環境を整備する。

### D - タクシー乗場の改善

タクシー乗場およびIT技術を活用したタクシーの待機環境の改善を検討していく。

柏駅東口タクシー乗場（右側から乗車）



タクシーの待機状況



休日タクシープール（柏市役所第2駐車場）



柏駅東口のタクシー待機状況を映し出すモニター





実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     タクシー乗場の改善                      タクシー待機環境の改善                 </div>		

## D - タクシー事業の活性化

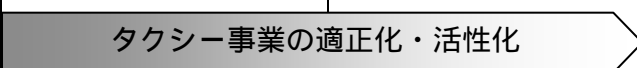
本市域を含む東葛交通圏は、タクシー事業の適正化・活性化法（平成 21 年 10 月施行）に基く、供給過剰の進行等によりタクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮できていない地域（特定地域）に指定されていることから、地域計画への参画・推進を通して、タクシーが地域公共交通としての機能を十分に発揮し、利用者の多様なニーズに対応できるようタクシー事業の適正化・活性化について取り組んでいく。

### 特定地域の取り組み

#### 地域協議会

構成員	取り組む内容
地方運輸局長 関係地方公共団体の長 タクシー事業者・団体 タクシー運転者の団体 地域住民 その他（学識経験者， 関係行政機関等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーサービスの活性化</li> <li>・事業経営の活性化，効率化</li> <li>・タクシー運転者の労働条件の悪化の防止，改善・向上</li> <li>・交通問題，環境問題，都市問題の改善など</li> </ul> <div style="text-align: center;">   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">地域計画を作成</div> </div> <div style="float: right; text-align: center;"> <p>【具体例】</p>  <p>乗り場の整備等による 利用者サービスの充実</p> </div>

**タクシー事業者** ・地域計画に即して特定事業計画を作成する。

実施主体	スケジュール		
	短期 (22 年度～25 年度)	中期 (26 年度～28 年度)	長期 (29 年度～31 年度)
国 千葉県 柏市 交通事業者			

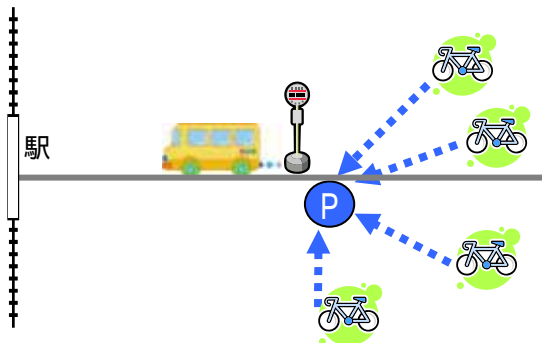
## E 環境負荷の軽減

公共交通への転換による自動車交通の削減とクリーンエネルギー技術の普及により，環境負荷の軽減を図っていく。

### E - 自動車交通量の削減

公共交通機関利用への啓発や誘導、パーク＆ライド、エコドライブ、カーシェアリング等の様々な取り組みを実践し，自動車交通量の総量削減に努めていく。

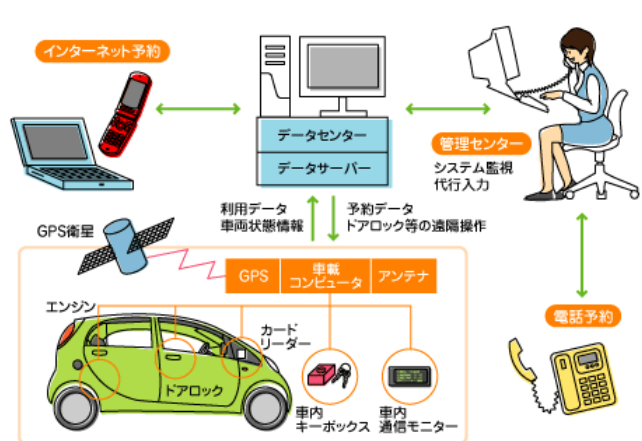
サイクル&バスライドイメージ



カーシェアリングの利用イメージ



カーシェアリングのしくみ



出典：オリックスレンタカー

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国，千葉県 柏市 企業 市民	自動車交通量の総量削減を推進		



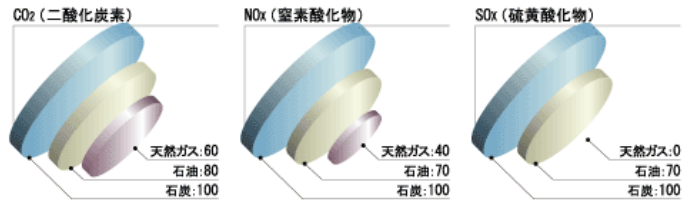
## E - クリーンエネルギー技術の利用

これまでバスへのCNG（天然ガス）車の導入・普及促進などにより，環境負荷の軽減を図っているが，CNG車だけでなく，ハイブリッド車，電気自動車等の集中的かつ計画的な導入及び次世代自動車導入に向けた環境整備を重点的に実施する。

東武バスのCNG（天然ガス）ノンステップ車両



化石燃料の燃焼生成物の発生量比較



出典：東京ガスHP

多様な環境対応車のタイプ



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国，千葉県 柏市 交通事業者 大学，企業 市民	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em;">➔</span> </div> クリーンエネルギー技術の活用		



## 方針 2：物流システムの適正化・効率化の推進

### 現状と展望

- ・ 中心市街地においては、駅周辺に直接関係の無い通過交通と、駅関連交通、商業施設への荷物の搬入のための交通等が錯綜し、時間帯によっては道路交通混雑による渋滞や歩行者・自転車の安全な通行の妨げになっている。
- ・ このため、中心市街地の路上での荷捌きによる道路交通混雑の解消や効率的な道路空間の活用による歩行者・自転車通行の安全性の向上を図るため、運送事業者・商業者と協働し、IT技術を活用しながら、荷捌き駐車場の確保・共同配送・配車配送スケジュールの最適化等、端末物流システムの適正化・効率化の推進を目指す。

### 基本的な施策の方向性

#### F 端末物流対策



#### 先進的な柏の路上荷捌き駐車帯

第3回東京都市圏物資流動調査では、都市計画中央審議会の答申を踏まえ、ケーススタディ地区10地区において、はじめて端末物流施策のあり方についての検討が行われました。

その後、柏市、武蔵野市等において端末物流を扱った社会実験等が行われ、柏市においては、路上荷捌き駐車帯として実現化（試行中）に至っています。

柏市における路上荷捌き駐車帯



F

端末物流対策

F

路上荷捌きの対策

小規模の商業ビルが混在する地区にあっては、運送事業者・商業者が協働した荷捌き駐車を検討していく。  
 横持ち搬送が歩行者と混在する時間や距離、発生する回数が多い地区にあっては、運送事業者・商業者が協働した共同搬送、空間や時間の分離等による対策を検討していく。  
 新たに整備する物流拠点にあっては、都市交通対策も視野に入れ、高度な物流システムの構築を検討していく。

路上共同荷捌きスペース



配車配送スケジュールによる時間・空間による効率的運用

- ・貨物集配車と一般乗用車の駐車可能路線を時間により指定することで、駐車スペースの効率利用を図るもの。



実施前（平成5～6年頃）

実施後（平成7年頃）

出典：都市内物流トータルプラン（国土交通省）

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 企業		協働による荷捌き駐車場の運営検討	
		時間・空間による効率的運用	
		高度な物流システムの構築検討	

# 方針 3：良好な歩行者・自転車環境が確保された歩いて暮せるまちの創出

## 現状と展望

- ・ 柏駅や柏の葉キャンパス駅周辺においては、都市拠点として商業施設が集積し、市内はもとより市域外からも多くのひとが集まり賑わいのある空間が形成されている。また身近な交通手段としてレンタサイクルシステムなども導入されており、歩行者・自転車にとって良好な環境が求められている。
- ・ このため、歩行空間のユニバーサルデザイン化など移動円滑化を進め、良好で連続した歩行環境の整備を進めるとともに、環境負荷の軽減や既存サイクリングロードとの一体的ネットワーク形成に配慮しながら、自転車も利用しやすい交通環境の実現に取り組む。

## 基本的な施策の方向性

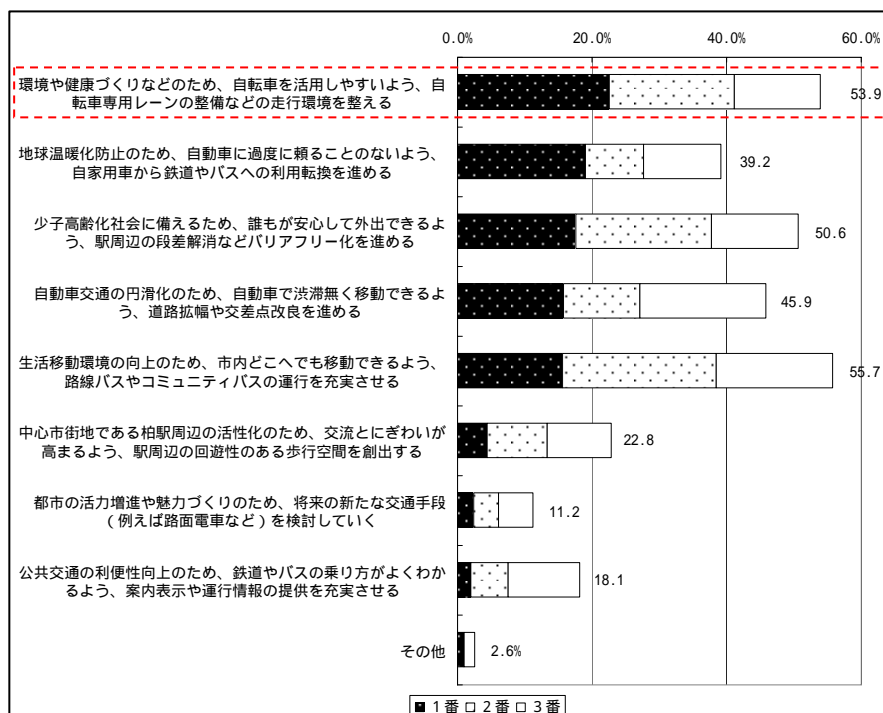
**G** 歩行者環境の向上（重点的取り組み施策）

**H** 自転車利用環境の向上（重点的取り組み施策）



### 市民ニーズの高い自転車施策

市民アンケートによると、今後 10 年を見通した交通環境の将来方向について、第一位に挙げているのは「環境や健康づくりのため、自転車を活用しやすいよう、自転車専用レーンなどの走行環境を整える」であり、市民が自転車利用に関心があることが伺えます。

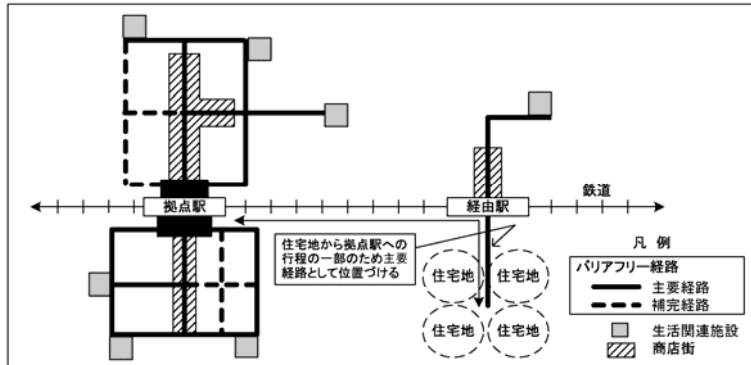


# G 歩行者環境の向上（重点的取り組み施策）

## G- 歩道のバリアフリー

バリアフリー基本構想に基づき、歩道の段差解消を進めていく。  
歩行等の妨げとなる電柱、植樹帯、看板等の点検を実施しながら、関係機関との連携により改善を図っていく。

バリアフリー経路の考え方



- 重点整備地区の設定（赤字：追加地区）
- |          |         |               |
|----------|---------|---------------|
| 柏駅周辺地区   | 新柏駅周辺地区 | 柏の葉キャンパス駅周辺地区 |
| 南柏駅周辺地区  | 増尾駅周辺地区 | 柏たなか駅周辺地区     |
| 北柏駅周辺地区  | 逆井駅周辺地区 | 沼南庁舎周辺地区      |
| 豊四季駅周辺地区 | 高柳駅周辺地区 |               |

整備前



整備後



出典：国土交通省HP

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国	歩道の段差解消		
千葉県			
柏市	電柱・植樹帯・看板等の総点検		
企業			

# H 自転車利用環境の向上（重点的取り組み施策）

## H - 自転車利用環境の整備

歩行者，自転車，自動車の交通量等の実態，道路の構造を踏まえて，走行環境の分離を推進していく。  
 自転車等の駐車対策に関する総合計画を策定し，関係機関がそれぞれの役割を分担し，相互に連携・協力しながら，必要な措置を講じていく。

通勤通学時の状況



民間による駐輪場整備

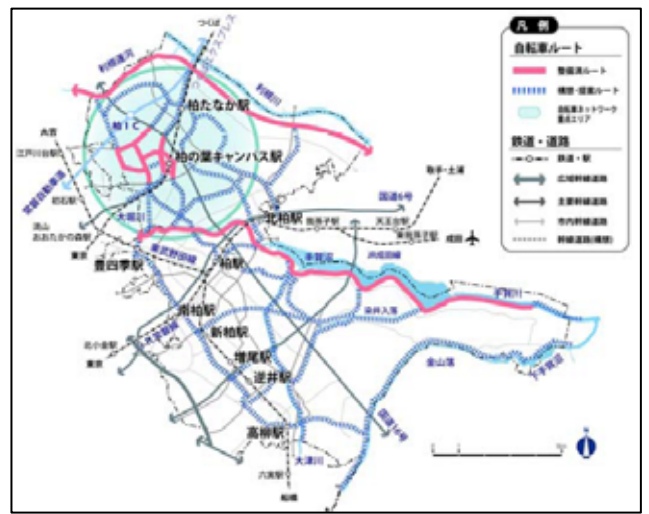


自転車走行空間イメージ



出典：国土交通省

自転車ネットワーク



出典：柏市都市計画マスタープラン

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国，千葉県 柏市 交通管理者，企業	走行空間の分離		
	自転車等駐車対策に関する総合計画の策定		



## H - ルールの周知徹底，マナーの向上

自転車利用者の通行ルールの周知徹底，マナー向上を関係機関と連携した啓発活動等を通じ実施していく。

### 柏市における自転車のマナー啓発PRチラシ

## 守っていますか 自転車の交通ルール

#### 車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置づけられています。そのため、歩道と車道の区別があるところでは、左側端通行（車道の左端）が原則です。【罰則】3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金



#### 自転車の2人乗り

2人乗りは、16歳以上のかたが6歳未満の幼児を幼児用補助いすに乗せる場合のみ認められています。【罰則】2万円以下の罰金または料料



#### 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

自転車通行可の歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は、一時停止しなければなりません。【罰則】2万円以下の罰金または料料  
※6月19日までに、普通自転車の歩道通行のルールが変更になります



#### 大きな荷物を積まない

特に前カゴに大きな荷物を積むと、ハンドルが取られやすくなります。荷物を運ぶときは、なるべく後部荷台に、確実に固定しましょう。



#### 夜間はライトを点灯

無灯火運転は、ほかの歩行者や自転車、車両などから見えなことがあり大変危険です。前照灯と尾灯（または反射器材）をつけましょう。【罰則】5万円以下の罰金



#### 「携帯電話しながら運転」はダメ

携帯電話の操作に気を取られて、歩行者に衝突するという交通事故も起きています。また、傘を差しながらの運転も同じです。絶対にやめましょう。



出典：広報かしわ

### 関係機関による通学時の交通安全指導



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～24年度)	中期 (25年度～27年度)	長期 (28年度～31年度)
交通管理者 柏市	安全教育・啓発活動		
企業 市民	交通事故の防止		



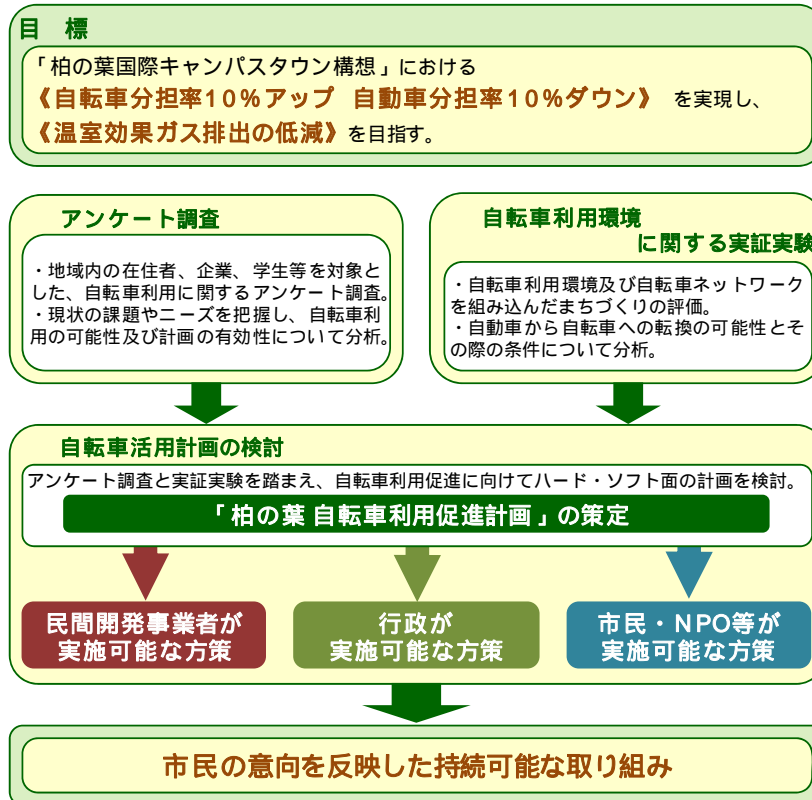


## 自転車を活用した先進的な街づくり

柏の葉キャンパス地区では、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」の理念に基づき、公・民・学が連携した街づくり拠点 UDCK<sup>1)</sup>が中心となり「先進的な自転車の街」への取り組みが行われています。

自転車を活用した街づくりが持続可能な取り組みとなるよう、市民の意向を反映した「柏の葉自転車利用促進計画」を策定しています。

### 「柏の葉自転車利用促進計画」の構成



「柏の葉自転車利用促進計画」は、柏の葉キャンパス地区の在住者、企業、学生等を対象とした回収数 1,600 を超えるアンケート調査やモニター参加型の走行実証実験から現状の課題やニーズを把握して、自動車から自転車への転換と温室効果ガス排出低減の可能性について分析し、自転車利用促進効果の高いハード・ソフト両面の施策を検討しています。

施策毎に実施主体を分類して、キャンパスタウン構想の実現への道筋を多角的に考察しており、市民が自転車利用に関心があり、自動車から自転車への転換の可能性があることが伺えます。

また、この取り組みの一部は、平成 21 年度「国土交通省新たな温室効果ガス削減環境事業モデル」事業に選定されています。

1) UDCK (柏の葉アーバンデザインセンター)

: まちづくりを市民、行政、NPO、企業、大学が協働するための場として 2006 年 11 月に開設。

走行実証実験の様子



## 方針 4：優先順位の評価による効率的な道路整備

### 現状と展望

- ・ 柏市の都市計画道路整備率は県内主要都市に比べて低水準にあり，幹線道路の店舗進出，共同住宅等の開発に伴う自動車交通量増加により道路混雑が懸念されている。
- ・ また，財政状況を踏まえ，まちづくりの観点から優先性の高い道路整備の促進が求められている。
- ・ このため，首都圏における広域連携拠点としての発展を支え，拠点及び地域間を連絡する道路，鉄道駅等交通結節点へのアクセス道路など，緊急性・重要性の高い道路に加え，公共交通や歩行者・自転車ネットワークを重視した道路などの優先的かつ効率的な整備を推進する。

### 基本的な施策の方向性

**I** 効率的・効果的な道路整備の推進

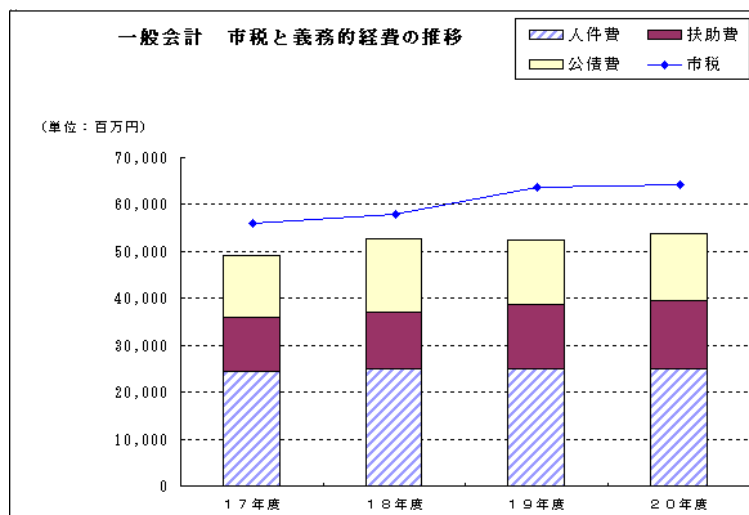
**J** 広域ネットワークを支える道路整備



### 柏市の厳しい財政状況

我が国の経済は，昨年秋のアメリカ経済を震源とした世界同時不況の影響を受けて急速に停滞し，一部に回復の兆候が見られるものの，雇用情勢は一段と厳しさを増すなど，予断を許さない状況にあります。

このような中，本市においては，市税を中心とする一般財源が伸び悩む一方，扶助費や公債費など，経常経費の増加などにより引き続き財源が逼迫する状況が続いていくものと見込まれます。



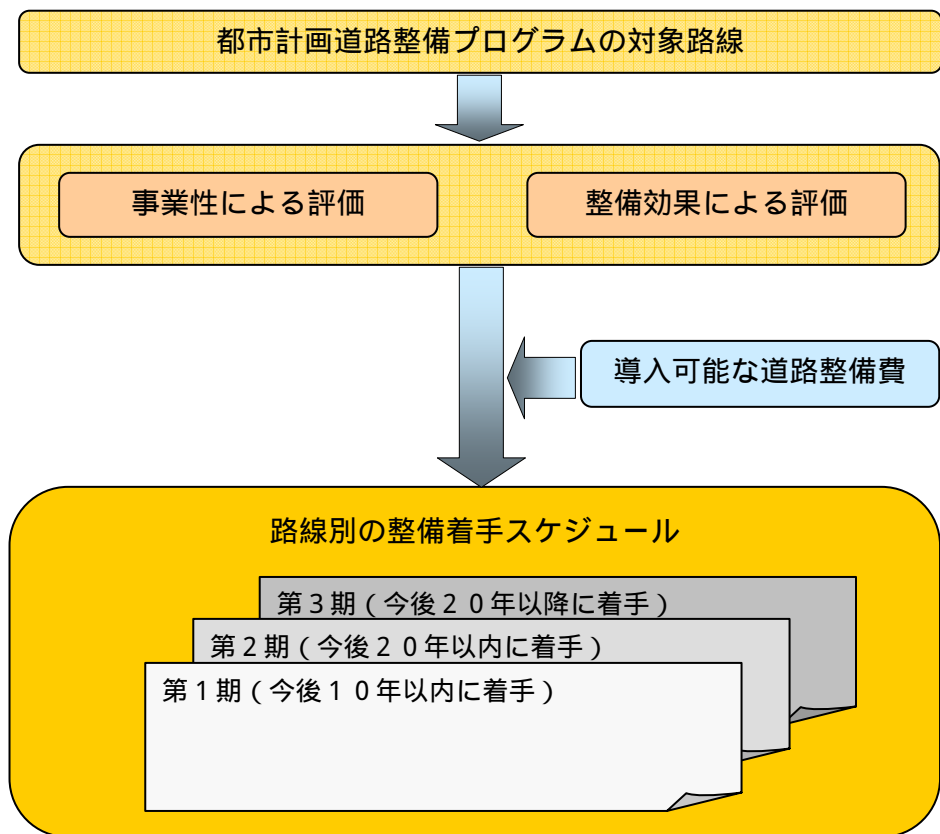
出典：柏市

# I 効率的・効果的な道路整備の推進

## I - 都市計画道路の整備プログラムの策定

都市計画道路整備プログラムを策定し，効果的かつ効率的に整備していく。

都市計画道路整備プログラム策定イメージ



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国 千葉県 柏市	都市計画道路整備 プログラムの策定		

## I - 渋滞交差点の解消対策

交通渋滞が激しく、事故が頻発する交差点については、交通需要をマネジメントする施策の実施とともに、交差点改良等によるボトルネック箇所の解消を計画的に行い、車両の円滑な通行を図る。

柏公園入口交差点

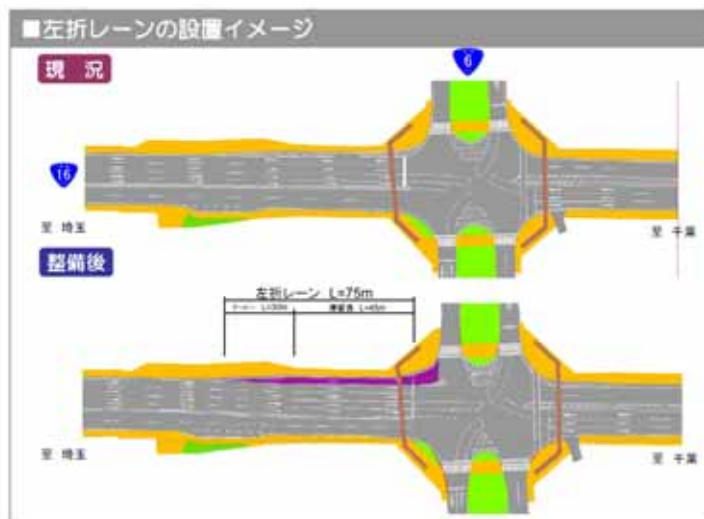
《改良前》



《改良後：左折専用レーンの整備》



呼塚交差点の交差点改良



出典：国土交通省千葉国道事務所

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国 千葉県 交通管理者 柏市	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     交通需要調整・渋滞交差点の解消                 </div>		

## J 広域ネットワークを支える道路整備

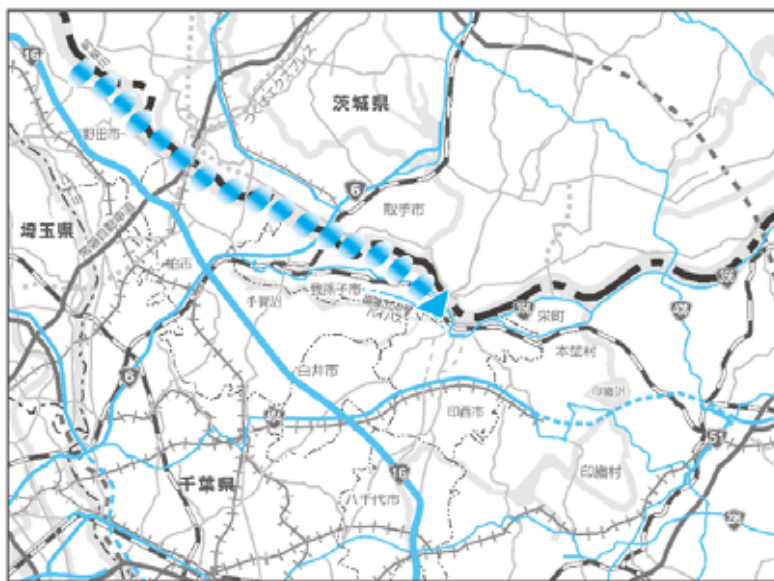
### J - 千葉柏道路の整備

国道16号の渋滞解消や千葉県北西部の交通の円滑化を図るため、千葉柏道路の整備、県道・主要地方道の拡幅等の実現を図っていく。

国道16号



千葉柏道路のルートイメージ



出典：国土交通省千葉国道事務所

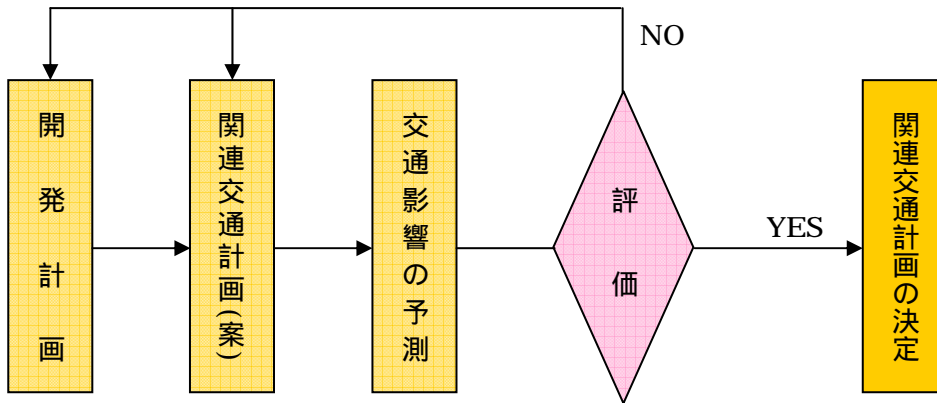
実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国 千葉県 柏市	整備の要請		



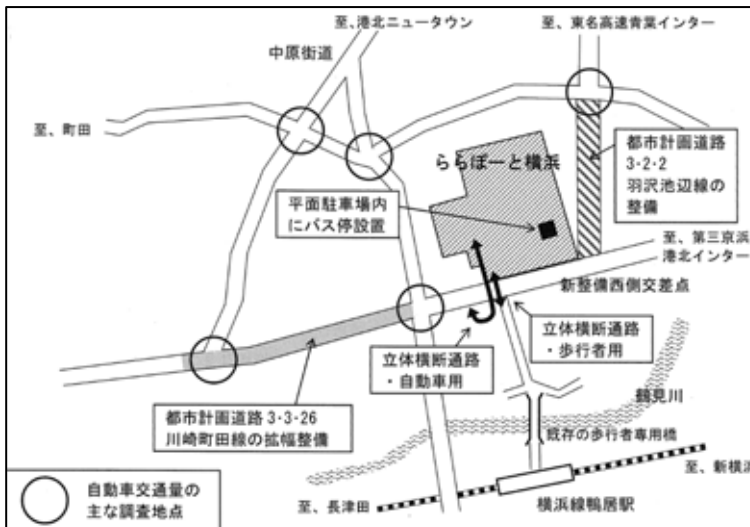
**J** - 大規模開発地区に伴う道路整備

大規模開発にあっては、地域の現状と上位計画を踏まえ、周辺交通に支障を与えないよう必要な施設整備計画や広域ネットワークの形成に資する計画を策定するとともに、影響が許容限度をこえるなど、関連交通計画が不適切な場合には、開発事業者との調整による開発計画の見直しを行っていく。

開発に伴う交通への影響評価と計画への反映手順



大規模商業施設の関連交通計画イメージ



出典：大規模都市開発に伴う交通対策のたて方

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
交通管理者 柏市 企業	関連計画，道路整備等の対策		

## 方針 5：都市拠点や地域拠点を連携し，交通機能を強化する公共交通軸の形成

### 現状と展望

- ・ 合併や新たな拠点開発等により，都市構造が変化する中，各都市拠点を連絡する連携軸を支える新たな交通基盤を確保する必要がある。
- ・ このため，柏市の都市軸を補完し，都市拠点や地域拠点を相互に連絡しながら交流機能を強化する新しい公共交通軸の整備により，一体的な市街地形成を図る。

### 基本的な施策の方向性

**K** 幹線公共交通軸の強化（重点的取り組み施策）

**L** 広域輸送力の増強

**M** 新しい交通システムの可能性検討



### 東京都江戸川区の環七シャトル セブン

区内南北交通の課題を解決するため，19年4月から試験運行を開始した「シャトル セブン」が，好評により，正式路線として本格運行を開始しています。

シャトル セブンは，東西方向の主要な鉄道駅を連絡し江戸川区の南北都市軸を形成する新しい交通システムとして，区民に定着しつつあります。



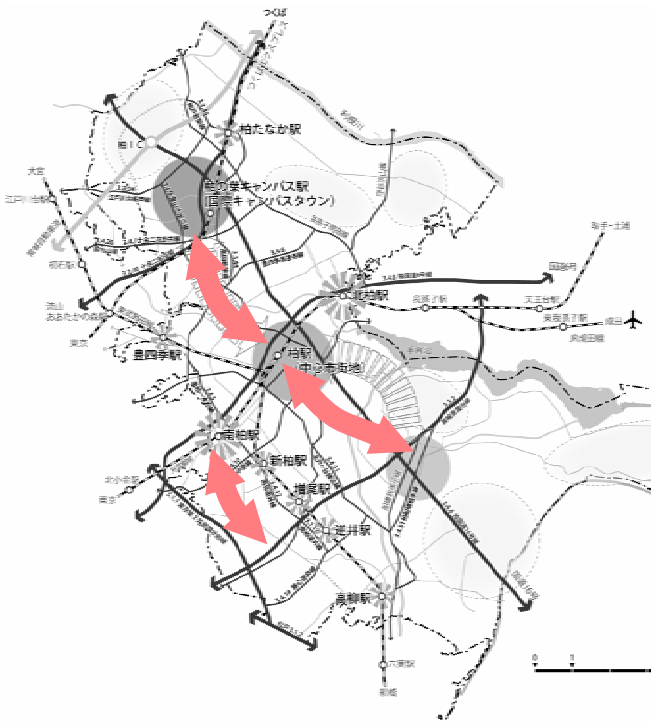
出典：江戸川区

# K 幹線公共交通軸の強化（重点的取り組み施策）

## K - バス機能の強化検討

都市拠点や地域拠点を連携し、交通機能を強化する公共交通軸には、バスロケーションシステム、乗り継ぎ情報案内、ハイグレードバス停、車両の差別化（新しい車両・拠点間シャトルバス）等の導入検討に加え、幹線バスと支線バスによる交通ネットワークにITS（高度道路情報システム）を活用した「新たな公共交通システム」により、総合的かつ高度なバスシステムの導入を研究していく。

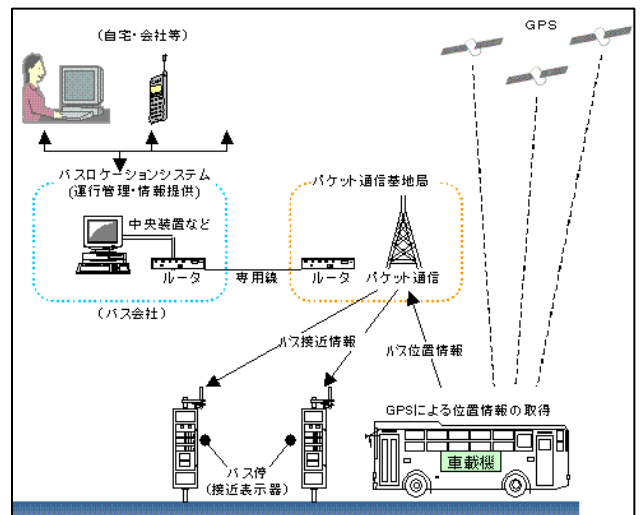
交通機能を強化する公共交通軸



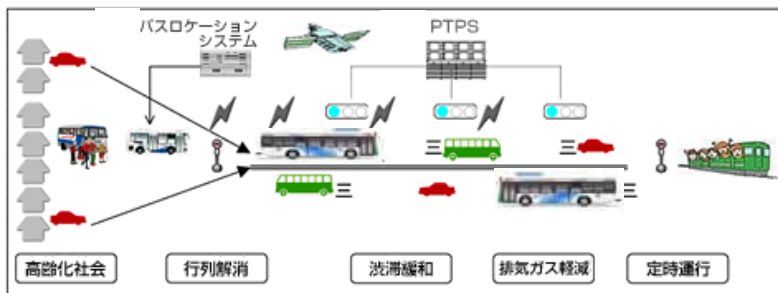
非接触給電ハイブリッドバス



バスロケーションシステム



新たな公共交通システムイメージ



バス車内での鉄道運行情報の提供



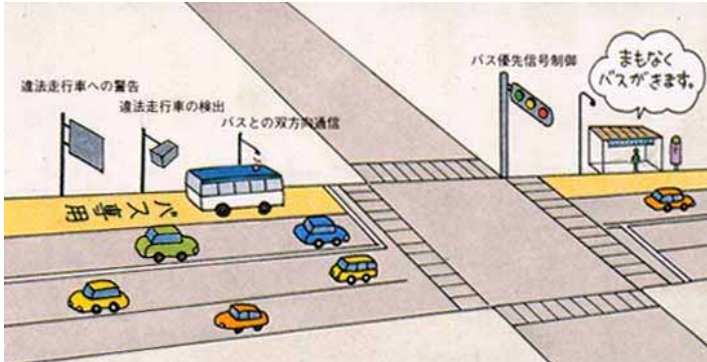
出典：神奈川中央交通バス

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者	バス路線の機能強化を研究		

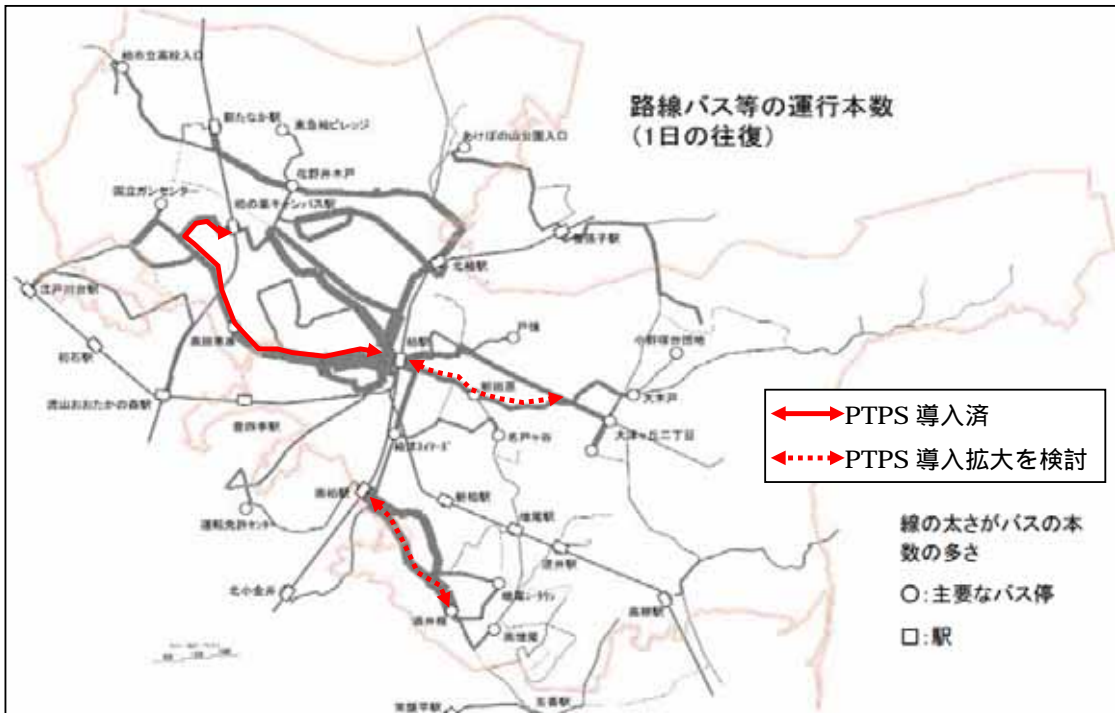
**K** - P T P S の拡充

南柏駅から酒井根，柏駅から沼南支所方面などに連絡するバス路線について，導入拡大を検討していく。

P T P S ( 公共車両優先システム ) のイメージ



導入箇所のイメージ



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通管理者 交通事業者	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">南柏 柏駅</div> <div style="text-align: center;">酒井根 沼南方面</div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> </div>		



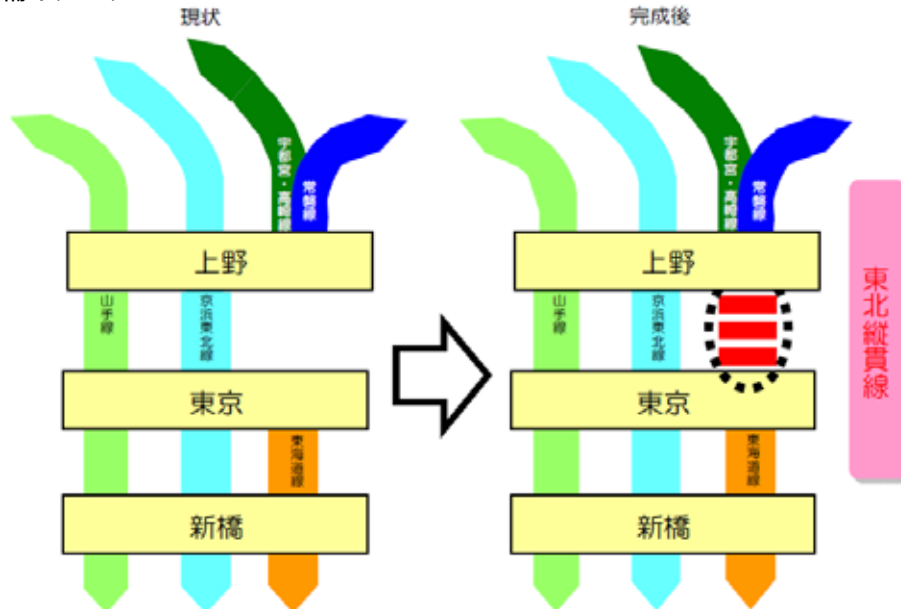
## 広域輸送力の増強



### 常磐線の東京駅乗り入れ

快速電車の乗入れ及び東海道線との相互直通運転など具体的な輸送計画を検討していく。

整備イメージ



#### ■ 期待される効果

##### ・混雑緩和

朝通勤時間帯の混雑率が最も高い京浜東北・山手線上野～御徒町間で、混雑率が大幅に緩和されます。(2006年度：京浜東北線213%、山手線216%)

##### ・速達性の向上

直通運転により上野駅や東京駅での乗り換えが不要となり、所要時間が短縮されます。

##### ・鉄道ネットワークの強化

首都圏を南北に結ぶ輸送ネットワークがさらに強化されることにより、相互の交流を促進し、地域の活性化にも寄与します。

(平成 25 年度完成予定)

出典：JR東日本

実施主体	スケジュール		
	短期 (22 年度～25 年度)	中期 (26 年度～28 年度)	長期 (29 年度～31 年度)
交通事業者	輸送計画の検討		



**L** - 常磐線，成田線，東武野田線の輸送力増強

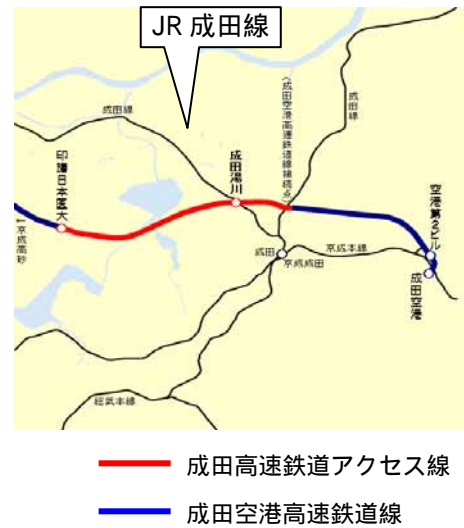
常磐線，成田線，東武野田線の通勤・通学時の増発に向け，関係機関で検討していく。

**J R 常磐線**

沿線の地方自治体では，混雑緩和を図るため，緩行列車および快速列車の増発を要望している。

**J R 成田線**

沿線自治体では，通勤通学者の利便性の向上を図るため，通勤・通学時間帯の増発を要望している。  
また，空港アクセスなど利便性向上が図られることから，成田線と成田新高速鉄道（平成 22 年度開業）の交差部への新駅の設置を要望している。



**東武野田線**

逆井駅から六実駅間の単線区間において複線敷の用地買収等が進められている。

東武野田線（高柳駅近く）



実施主体	スケジュール		
	短期 (22 年度～25 年度)	中期 (26 年度～28 年度)	長期 (29 年度～31 年度)
国 千葉県 柏市 交通事業者	関係機関で検討		

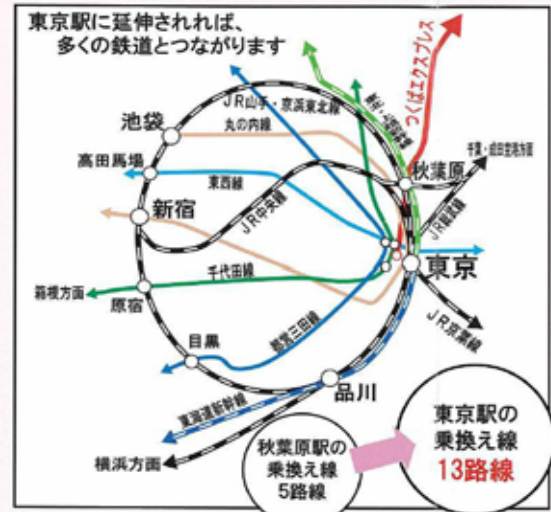
L - つくばエクスプレス，地下鉄11号線の延伸

広域及び市内における移動のしやすさのさらなる向上を図るため，つくばエクスプレスの東京駅までの延伸，地下鉄11号線の南部地域への延伸などについて，近隣自治体と協調し関係機関へ働きかける。

つくばエクスプレスの東京駅延伸

【延伸の効果】

東京のキーステーションと直結することで利便性が高まる。  
飽和状態にある秋葉原駅の混雑を緩和できる。  
東京駅の魅力とつながることで，沿線のまちづくりも進んでいくことが期待できる



出典：つくばエクスプレス東京駅延伸パンフレット  
(沿線自治体作成)

地下鉄11号線の柏南部地域への延伸(イメージ)



出典：運輸政策審議会答申第18号

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国			
千葉県	近隣自治体と協調して検討		
柏市			
交通事業者			

**L** - 高速バス路線の活用

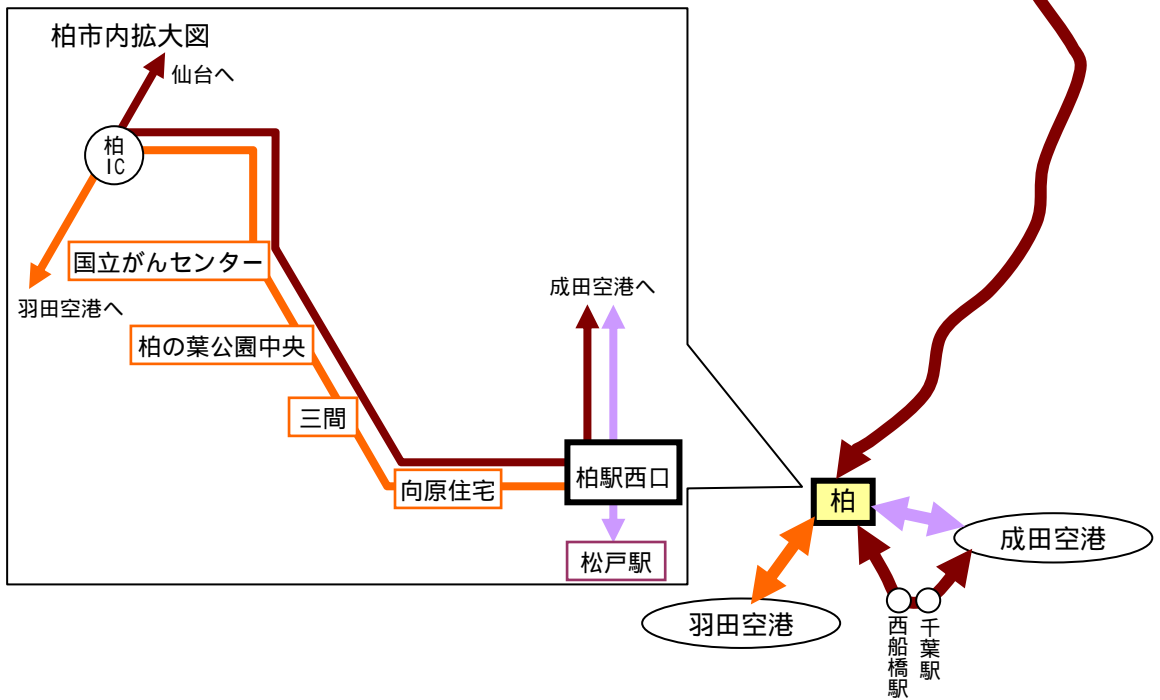
多様なニーズに対応する運行経路の見直し，新たな路線の可能性について検討していく。

高速バス



現在の高速バスネットワーク

- 柏 羽田空港 (行き 9 便)  
( 帰り 13 便)
- 松戸 柏 成田空港 (行き 8 便)  
( 帰り 7 便)
- 仙台 柏 成田空港 (往復 1 便)



実施主体	スケジュール		
	短期 (22 年度 ~ 25 年度)	中期 (26 年度 ~ 28 年度)	長期 (29 年度 ~ 31 年度)
柏市 交通事業者	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     運行経路の見直し・新路線の可能性検討                     <span style="font-size: 2em;">➤</span> </div>		

## M 新しい交通システムの可能性検討

### M - 新しい交通システム（先進都市等の取り組み事例）

本市の都市軸を補完し，都市拠点や地域拠点を相互に連絡しながら交流機能を強化する新しい交通システムの導入可能性を研究していく。

#### LRT（ライトレールトランジット）

- ・従来の路面電車が高度化され，洗練された公共交通システム。具体的には，車両の低床化，概観も美しくデザイン化されるとともに，道路だけでなく地下や高架，鉄道に乗り入れるなど多様な空間を活用し，速達性の向上が図られるなど，より高度な公共交通サービスを提供するために様々な工夫が施されたシステムである。
- ・日本では，富山市や広島市などで運行している。



【富山市】

#### BRT（バス・ラビット・トランジット）

- ・バス専用車線や連節バスなどを用いた交通システム。
- ・日本では，藤沢市などで運行を始めている。



【藤沢市】

#### エコライド研究・実験中

- ・ジェットコースターの原理を応用した省エネ型都市交通システム。
- ・用途として，主要駅からショッピングモールまでなど，2～5 km程度の距離を想定している。



出典：東京大学

#### オンデマンド交通実証実験

- ・オンデマンド交通とは予約によりドアトゥドアの移動サービスを提供するシステムのことで，バス路線だけの移動が難しい地域の多い柏市北部で，買い物や通院など目的を達成するために有償実証実験を行っており，実現化を目指している。



【柏市北部地域】

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～24年度)	中期 (25年度～27年度)	長期 (28年度～31年度)
国 千葉県 柏市 交通事業者 大学	導入可能性を研究		

## 方針 6：中心市街地の活性化を支援する交通施策の推進

### 現状と展望

- ・ 柏駅周辺の中心市街地は、柏駅に隣接して複数の大型店および金融機関等が立地し、柏駅を中心に放射状に商店街が発展し、その周辺にこだわりのある飲食店や「裏カシ」に代表される個性ある専門店が多数立地し、ダブルデッキ等まちなかでイベントが行われ、若者が集い、活気にあふれている。
- ・ 一方で、人々が集まることに伴い、治安の悪化が懸念され、ゆとりや品格に欠ける点について指摘されているように、子どもから高齢者に至る、あらゆる世代の人たちが、安心して楽しくまちを歩き、まちなかで活動することができるような、「安全・安心」でかつ「ゆとりや品格」への配慮が求められている。
- ・ このため、面的な歩行者空間の整備など、歩いて楽しい歩行空間の確保を目指すとともに、回遊性の向上を進め、街のにぎわいづくりに寄与できるよう、商業振興や魅力あるまちづくりと連携した交通施策を協働で展開する。

### 基本的な施策の方向性

**N** 回遊性のある歩行者環境の整備（重点的取り組み施策）

**■** 駐車場の有効活用



#### 柏のまちは音楽のまち

ダブルデッキ上においては、アコースティックギター1本で歌う「ストリート・ミュージシャン」の活動が目立つようになり、その中から、「Something Else」のようにメジャーデビューを果たすミュージシャンも現れました。

ストリート・ミュージシャンの活動の活発化と時を同じくして、柏駅周辺にはライブハウスが相次いでオープンし、若き個性ある店主らの商業活性化への活躍も見られるようになりました。

ダブルデッキ上では、ストリート・ミュージシャンが演奏を行う場所や時間、禁止事項等を取りまとめた「柏ルール」を守りながら活動しています。

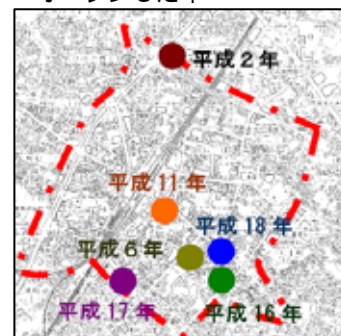
現在では、柏駅周辺は「音楽のまち」としてのイメージが定着し、ストリート・ミュージシャンは、まちの大切な財産と位置づけられています。

ダブルデッキ上で開催したストリート・ミュージシャンのコンテスト



出典：かしわインフォメーションセンターHP

柏駅周辺のライブハウスとオープンした年



出典：中心市街地活性化基本計画



N

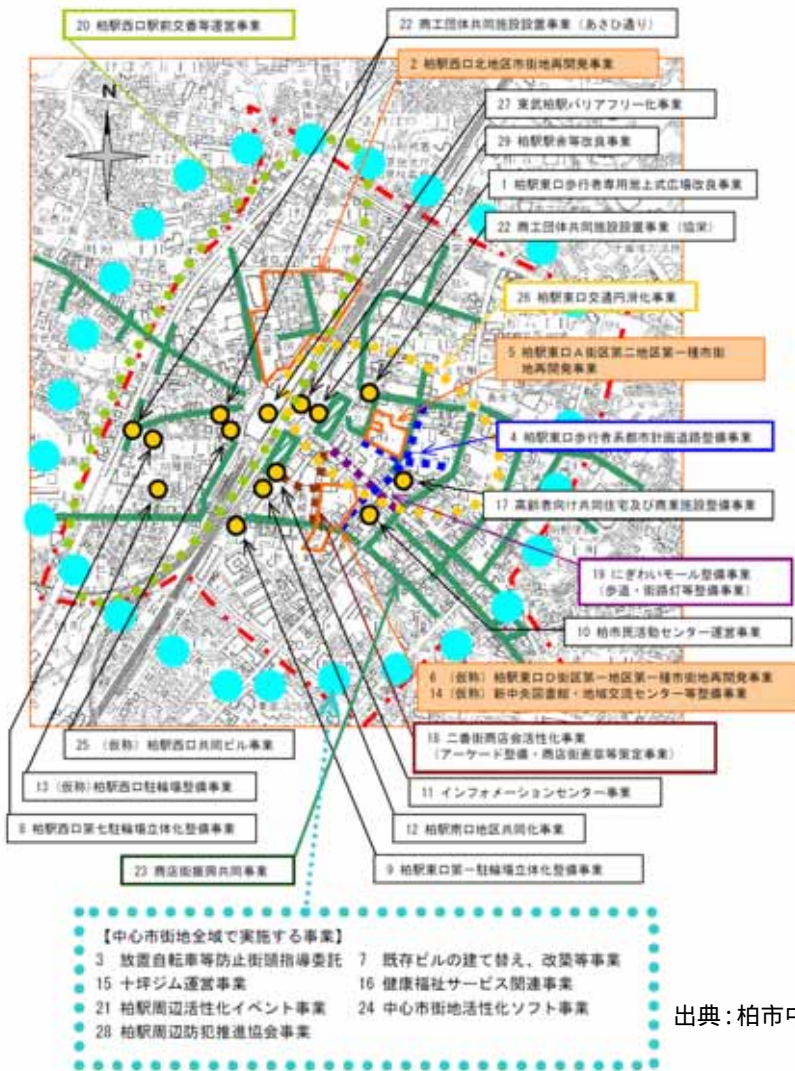
回遊性のある歩行環境の整備（重点的取り組み施策）

N

中心市街地活性化事業の展開

柏駅周辺地区については、まちの特徴と魅力を活かすための回遊性の高いまちづくりを目指し、歩行者動線等の整備改善を推進し、安全・安心で快適な歩行者空間の確保に努める。

事業及び措置の実施箇所



出典：柏市中心市街地活性化基本計画(H20.3)

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 企業	歩行者動線の整備		

**N** - 柏駅東口ダブルデッキの改修

ダブルデッキは駅を中心に展開する歩行者動線の中心となっていることから，耐震化やバリアフリー機能の向上を図り，景観にも配慮した改修を行っていく。

東口ダブルデッキ



東口ダブルデッキの改修イメージ



(平成 23 年度完成予定)

実施主体	スケジュール		
	短期 (22 年度～25 年度)	中期 (26 年度～28 年度)	長期 (29 年度～31 年度)
柏市 企業	東口ダブルデッキの改修		

## 駐車場の有効活用

### ○ - 駐車場整備計画の見直し

駐車需要の高い柏駅周辺地区について、駐車場不足による交通混雑や路上駐車に対処するために駐車場整備地区を決定しているが、駅周辺に過度に自動車を入れず、賑わいと交流を創造する街づくりが重要であることから、駐車場施策の見直しを自動二輪駐車対策も含めて検討していく。

#### 駐車場整備計画の主な内容

- (1) 路上駐車場及び路外駐車場の整備に関する基本方針
- (2) 路上駐車場及び路外駐車場の整備の目標年次及び目標量
- (3) 上記の目標量を達成するために必要な路上駐車場及び路外駐車場の整備に関する施策
- (4) 地方公共団体の設置する路上駐車場で駐車場整備地区内にある路上駐車場によっては満たされない自動車の駐車需要に応ずるため必要なものの配置及び規模並びに設置主体
- (5) 主要な路外駐車場の整備に関する事業の計画の概要
- (6) 地域特性に応じた駐車施設の整備
- (7) 駐車場付置義務の見直し

#### 付置義務条例における隔地運用基準の見直しイメージ



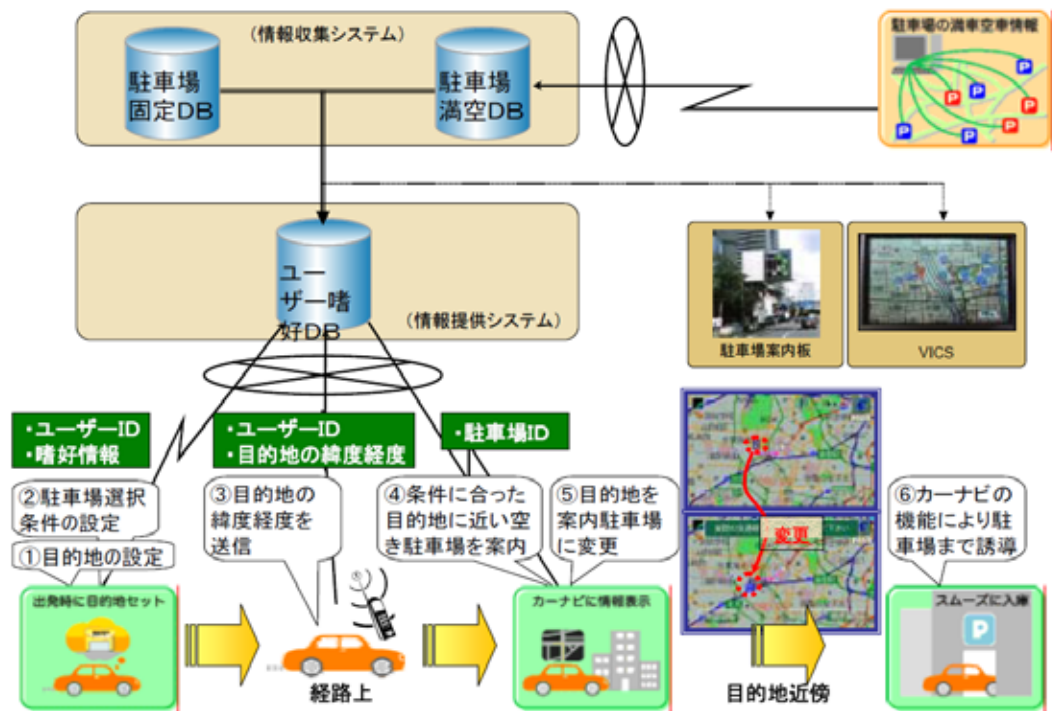
出典：仙台市駐車施設整備方針検討業務報告書（H17.12）

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 企業	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     駐車場整備計画の見直し                 </div>		

○ - 駐車場案内誘導システムの検討

駅周辺で大型商業施設が併設する駐車場への駐車まち渋滞や、駐車場を探すうろつき交通を削減するため、目的の駐車場が満車や休業の時は近くの空いている駐車場に円滑に案内・誘導する、駐車場案内・誘導システムの導入を図っていく。

ITを活用した駐車場案内・誘導システムイメージ



出典：国土交通省

実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通管理者 企業	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     駐車場案内・誘導システムの 導入検討                 </div>		







# P 次世代型環境都市モデルの展開（重点的取り組み施策）

## P - I T S 実証実験モデル都市

柏の葉キャンパス地域を中心に、I T S（高度道路交通システム）を利活用し、モダリティの可能な交通環境を実現するための取り組み、次世代型モビリティの可能性の検討・検証を行いながら、環境に配慮した次世代型環境都市の実現を目指していく。

柏の葉キャンパス駅周辺における次世代I T S実証実験イメージ



**P** - 地域ICT利活用モデル事業

柏の葉地域を中心として、ICT（情報通信技術）の利活用により、簡単に複数交通手段から自分の状況とニーズに合った交通手段を選択できるよう支援したり、サイクルシェア導入を視野において、必要な手続きを簡単に出来るよう支援するシステムの構築を目指していく。

柏の葉ポータルサイトの画面イメージ

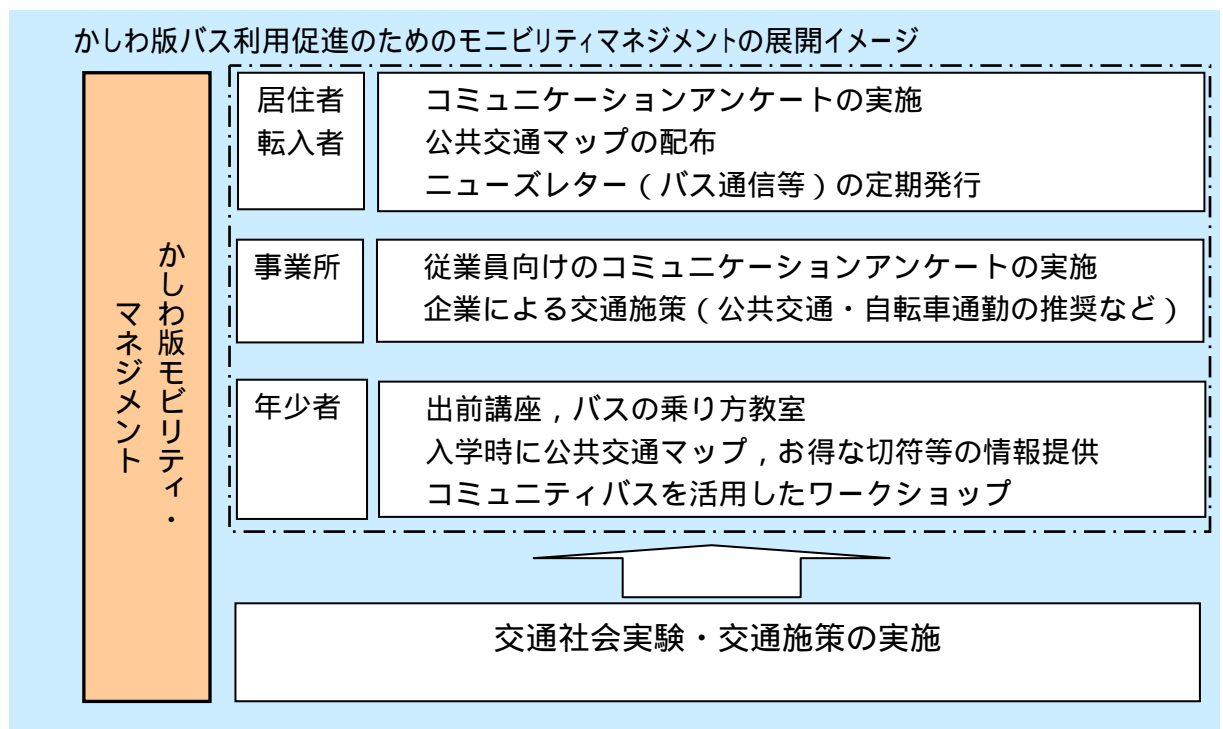


実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
柏市 交通事業者 大学 企業	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     実証実験・検証                 </div>		

## Q 市民等との協働体制づくり（重点的取り組み施策）

### Q - モビリティマネジメントの実施

環境や健康などに配慮した交通行動を，大規模，かつ，個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策を中心として，ひとり一人の住民や，一つ一つの職場組織等に働きかけ，自発的な行動の転換を促すとともに，これまでも行われてきた様々な交通施策を実施し，こうした取り組みを通じて，「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（=かしこく）利用する状態」を目指す。



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国 千葉県 柏市 企業 市民	コミュニケーション施策による公共交通への転換		

Q - 交通に関する情報の提供

「(仮称) 柏交通だより」の発行。出前講座の実施，ホームページの充実などにより，交通に関心を寄せてもらい，協働で交通施策を推進するような意識付けを行っていく。

(仮称) 柏交通だより



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国 千葉県 柏市 企業 市民	柏交通だよりの発行等，交通の意識付け		



## 方針 8 : 市民等との協働による交通政策の推進

### 現状と展望

- ・現在柏市においても、次世代型まちづくりを市民の方々と一緒に考えていく中、庁内では計画を横断的に進めていくために、関連部署からなるプロジェクトチームを設置し、行政評価システム、適正事業評価等に連動するとともに庁内の共有と連携を図りながら、PDCAサイクルを推進する体制が整いつつある。
- ・このため、交通政策の推進にあたっては、公共交通機関利用への啓発や誘導を図り、自動車に依存したライフスタイルを見直すなど、市民や企業に対する環境等に配慮した交通行動へのシフトを支援するため、市民との協働の体制の中で、定期的に施策実施の進行を監視し、必要に応じて見直しを行う仕組みを構築していく。

### 基本的な施策の方向性

#### R 施策の進行管理



#### 生涯学習まちづくり出前講座

柏市では、市民の皆さんの聞きたい・知りたい・学びたい内容に応じて市職員等が直接伺い、市民生活や生涯学習の推進に役立つ情報を届ける生涯学習まちづくり出前講座を実施しています。

対象：市内在住，在勤，在学の10人以上の団体

費用：無料（市職員以外のネットワークの派遣につきましては、実費が必要になる場合があります。）

#### 主な学習テーマ（例）

景観まちづくり  
柏市の都市計画  
区画整理による街づくり  
安全安心まちづくり事業（柏市の防犯）について  
エコドライブ講習会  
地球温暖化  
その他





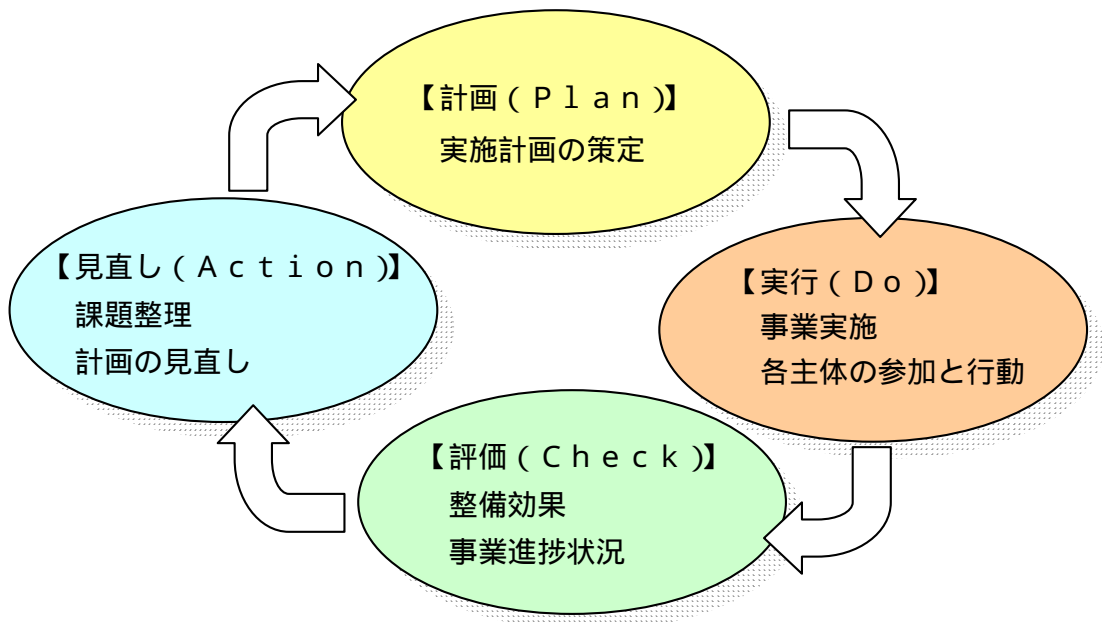
**R**

施策の進行管理

**R**

PDCAサイクルに基づく進行管理

総合交通計画における施策の実行にあっては、定期的に施策の進捗状況，導入効果等を確認し，必要に応じて施策の見直しを行うなどPDCAサイクルに基づく進行管理を行う組織を設置していく。



実施主体	スケジュール		
	短期 (22年度～25年度)	中期 (26年度～28年度)	長期 (29年度～31年度)
国			
千葉県	施策の進行管理		
柏市			
交通管理者		施策の進行管理	
交通事業者			
大学			
企業			施策の進行管理
市民			